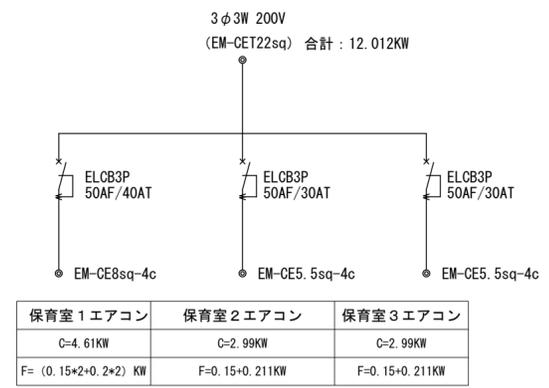
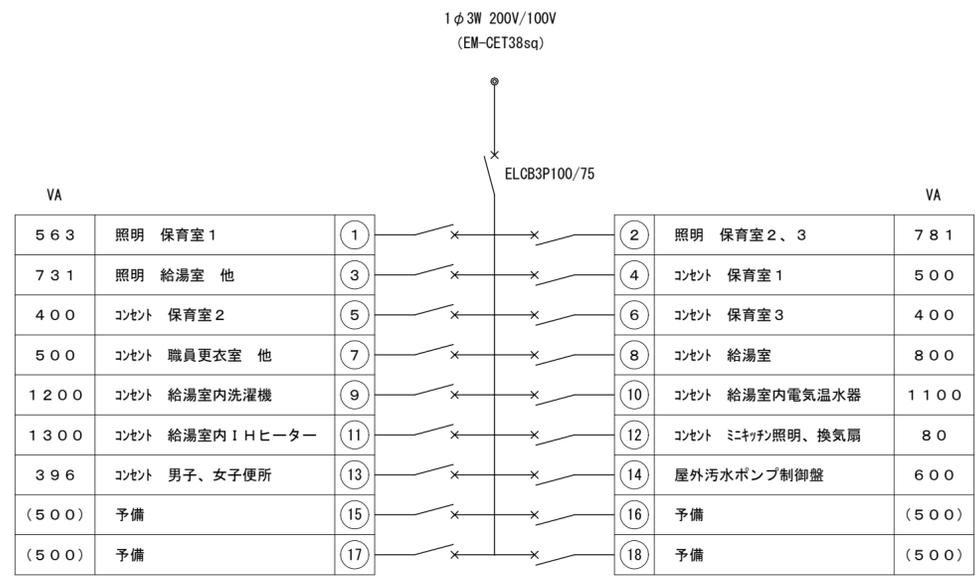


※  
改修事項  
既設 仮設棟キッズルーム送リブレーカ (MCCB3P50/50 1φ、3φ共同) を撤去し取替え

キュービクル (2面体 屋外型) 実線部分を改修 (破線部分は既設)  
既設 高圧受電設備単線結線図

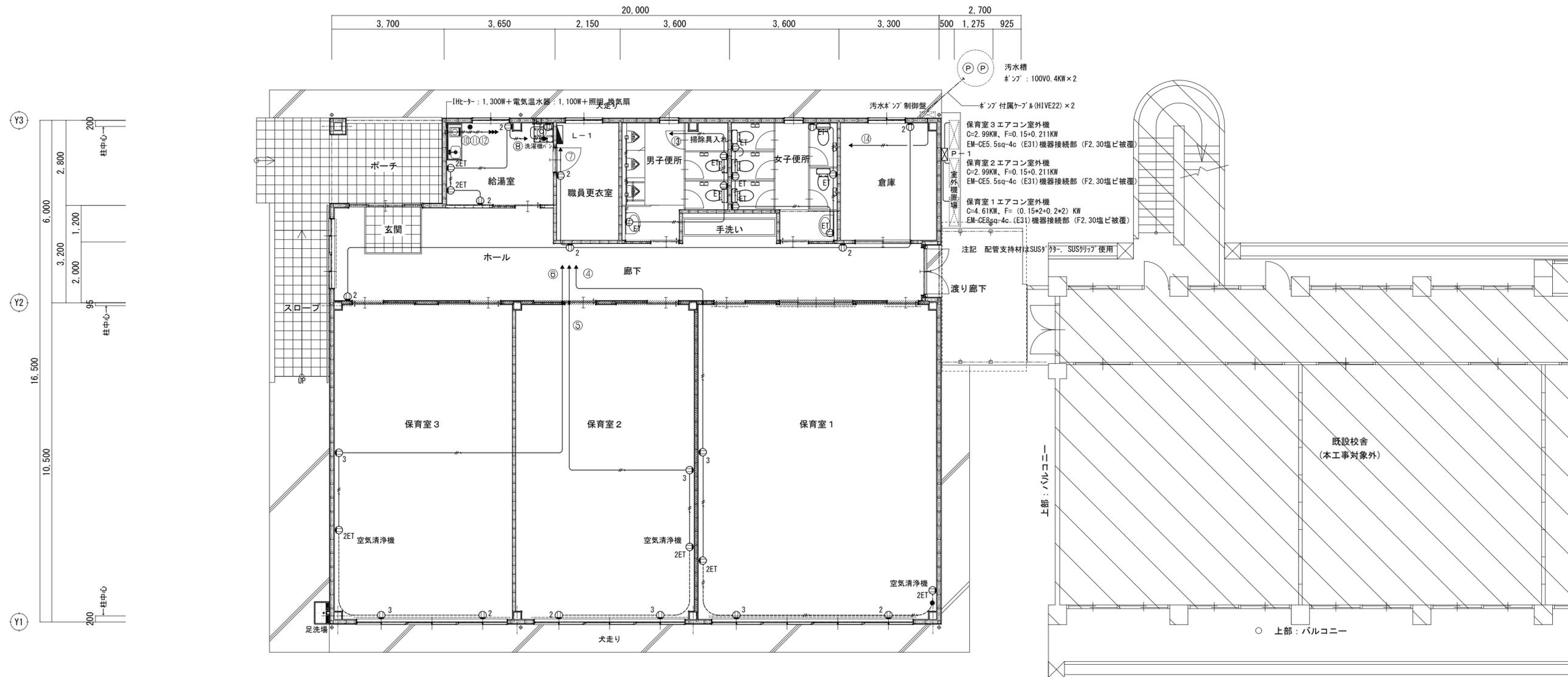


屋外防雨型 壁掛 (露出) 指定色塗装仕上げ  
P - 1



MCCB2P (1E) 50/20-14  
MCCB2P (2E) 50/20-4 (予備回路)  
2P (1E) 50/20・2P (2E) 50/20は、1Pサイズ の2Pブレーカとする。  
アース端子は分岐回路毎に設けること。

屋内壁掛型 (露出) 指定色塗装仕上げ  
L - 1



汚水槽  
ポンプ：100V0.4KW×2

ポンプ付風かぶ（HIVE22）×2

保育室3 エアコン室外機  
C=2.99KW、F=0.15+0.211KW  
EM-CE5.5sq-4c（E31）機器接続部（F2.30塩ビ被覆）

保育室2 エアコン室外機  
C=2.99KW、F=0.15+0.211KW  
EM-CE5.5sq-4c（E31）機器接続部（F2.30塩ビ被覆）

保育室1 エアコン室外機  
C=4.61KW、F=（0.15+2×0.2+2）KW  
EM-CE3sq-4c（E31）機器接続部（F2.30塩ビ被覆）

注記 配管支持材はSUSが好ましく、SUSが利用可能

Y3  
2.800  
柱中心

6.000  
3.200  
1.200  
2.000  
Y2  
柱中心

16.500  
10.500  
Y1  
200  
柱中心



<注記> 図中明記なき配管配線は下記とする。  
但し、壁内はP F管保護とすること。

EM-EEF2.0-2C

EM-EEF2.0-3C（1c7-ス）

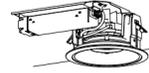
EM-EEF2.0-3C（1c7-ス）（PF22）

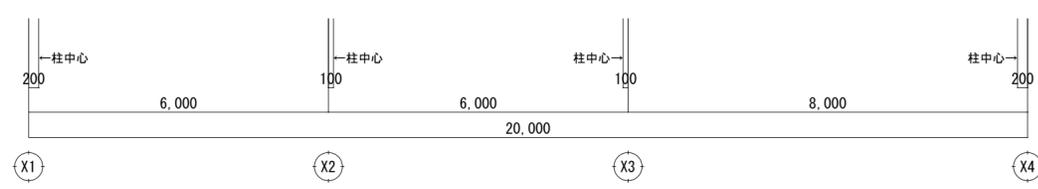
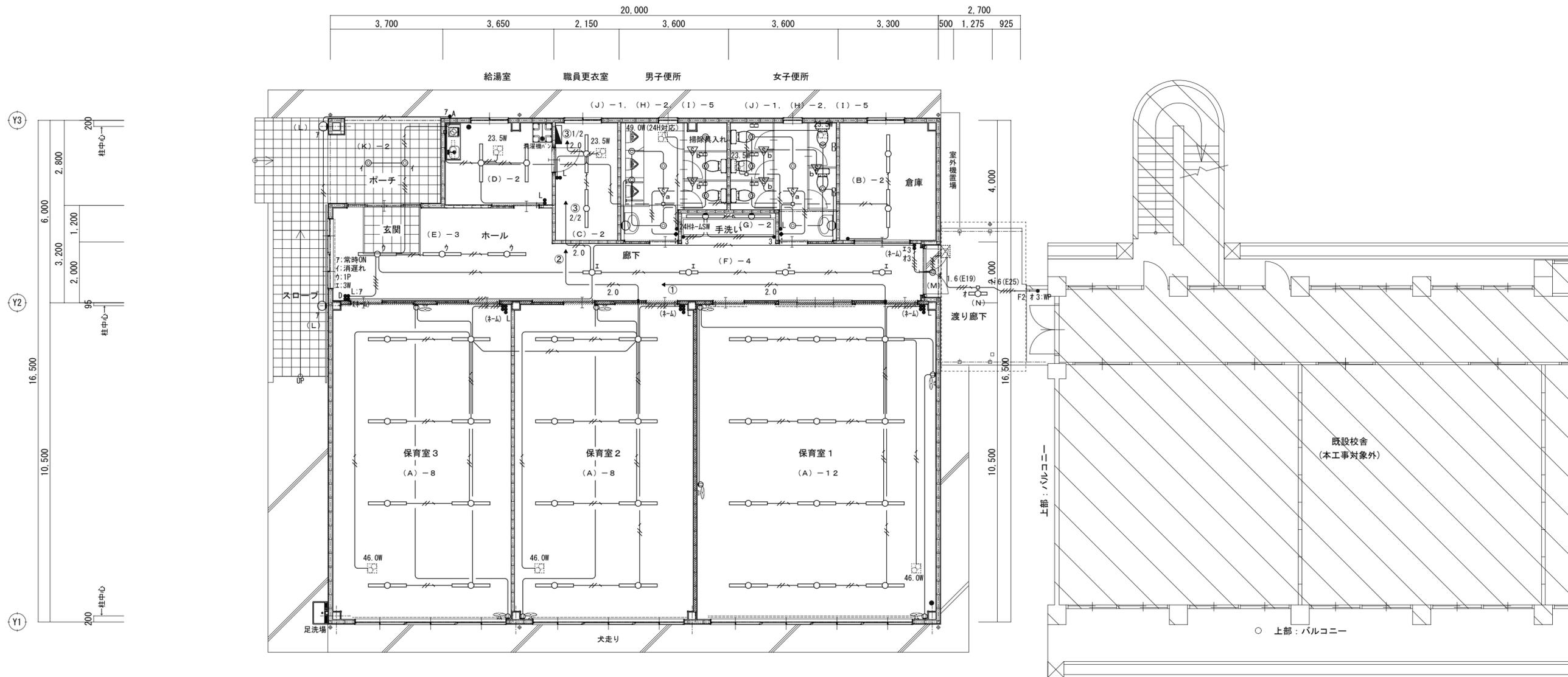
EM-EEF2.0-2C（PF22）

凡 例

記 号	名 称	摘 要
Ⓜ	埋込コンセント	2P15A-1 大角形 新金属プレート
Ⓜ2	"	2P15A-2 " "
Ⓜ3	"	2P15A-3 " "
ⓂET	"	2P15A-1 (ET付) " "
Ⓜ2ET	"	2P15A-2 (ET付) " "
ⓂE	"	2P15A-1 E付 " "
—■—	防火区画	防火区画貫通措置

1階平面図 S=1:100

<p><b>A</b> 直付型40形Dスタイル W230</p> <p>一般タイプ、6900lmタイプ 昼白色 消費電力43.1W、定格出力型 本体：鋼板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）</p>  <p>LSS10-6800LM</p>	<p><b>B</b> 直付型40形Dスタイル W150</p> <p>一般タイプ、3200lmタイプ 昼白色 消費電力20.6W、定格出力型 本体：鋼板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）</p>  <p>LSS9-3200LM</p>	<p><b>C</b> 直付型40形Dスタイル W150</p> <p>一般タイプ、5200lmタイプ 昼白色 消費電力32.5W、定格出力型 本体：鋼板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）</p>  <p>LSS9-4900LM</p>	<p><b>D</b> 直付形40形Dスタイル 防湿型・防雨型 W150</p> <p>一般タイプ、5200lmタイプ 消費電力32.5W、定格出力型 防湿型・防雨型ライトバー（カバー） ポリカーボネート（乳白） 本体：ステンレス（高反射白色粉体塗装）</p>  <p>LSS9MP/RP-4650LM</p>	<p><b>E</b> iDシリーズ埋込型40形下面開放型 W150 単体</p> <p>一般タイプ、6900lmタイプ 昼白色 消費電力43.1W、定格出力型 本体：亜鉛鋼板、反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）</p>  <p>LRS6-6600LM</p>	<p><b>F</b> iDシリーズ埋込20形 W150</p> <p>一般タイプ、3200lmタイプ 昼白色 消費電力23W、定格出力型 本体：亜鉛鋼板、反射板：鋼板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）</p>  <p>LRS6-3000LM-2</p>
<p><b>G</b> 直付型40形ウォールウォッシュ</p> <p>一般タイプ、5200lmタイプ 昼白色 消費電力32.5W、定格出力型 本体：亜鉛鋼板、反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）</p>  <p>パナソニック 直付XLX450WENZLE9同等品</p>	<p><b>H</b> LEDダウンライト 100形</p> <p>LED&lt;ワンコア（ひと粒）タイプ&gt; 一般タイプ885lm 消費電力7.9W 埋込穴φ75 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：アルミダイカスト（ホワイトつや消し仕上） 枠：アルミダイカスト（ホワイトつや消し仕上）</p>  <p>パナソニック ダウンライトXNDN1009WWKLE9同等品</p>	<p><b>I</b> LEDダウンライト 60形</p> <p>LED&lt;ワンコア（ひと粒）タイプ&gt;、一般タイプ510lm 消費電力5W 埋込穴φ75 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：アルミダイカスト（ホワイトつや消し仕上） 枠：アルミダイカスト（ホワイトつや消し仕上）</p>  <p>パナソニック NDN06001WKLE1同等品</p>	<p><b>J</b> LEDブラケット 60形電球1灯器具相当</p> <p>器具光束280lm、消費電力5W 電球色 拡散タイプ、天井直付型・壁直付型、ツマミネジ方式 カバー：アクリル（乳白つや消し）、（ホワイト）</p>  <p>パナソニック LGB81408LE1同等品</p>	<p><b>K</b> LEDダウンライト FHT42形器具相当</p> <p>器具光束1700lm、消費電力15.9W LED&lt;ワンコア（ひと粒タイプ）&gt;、軒下用（防雨型） 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 枠：鋼板（ホワイトつや消し仕上） パネル：アクリル（透明） 埋込穴φ150</p>  <p>LRS1RP-1700LM</p>	<p><b>L</b> LEDポーチライト 60形電球1灯器具相当</p> <p>壁直付型、防雨型 器具光束540lm、消費電力6.1W 昼白色 プラスチック（ホワイト） カバー：アクリル（乳白）</p>  <p>パナソニック LGW80290LE1同等品</p>
<p><b>M</b> LEDダウンライト 白熱灯60形器具相当</p> <p>LED&lt;ワンコア（ひと粒タイプ）&gt;、軒下用（防雨型） 器具光束535lm、消費電力5.5W 枠：鋼板（ホワイトつや消し仕上） 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） パネル：アクリル（透明） 埋込穴φ150</p>  <p>パナソニック NDW06610LE1同等品</p>	<p><b>N</b> iDシリーズ直付型20形iスタイル 防湿型・防雨型</p> <p>一般タイプ、1600lmタイプ 消費電力12.1W 防湿型・防雨型ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 本体：ステンレス（高反射白色粉体塗装）</p>  <p>LSS1MP/RP-1400LM-2</p>				



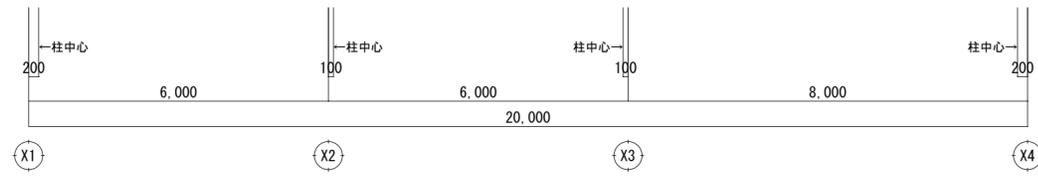
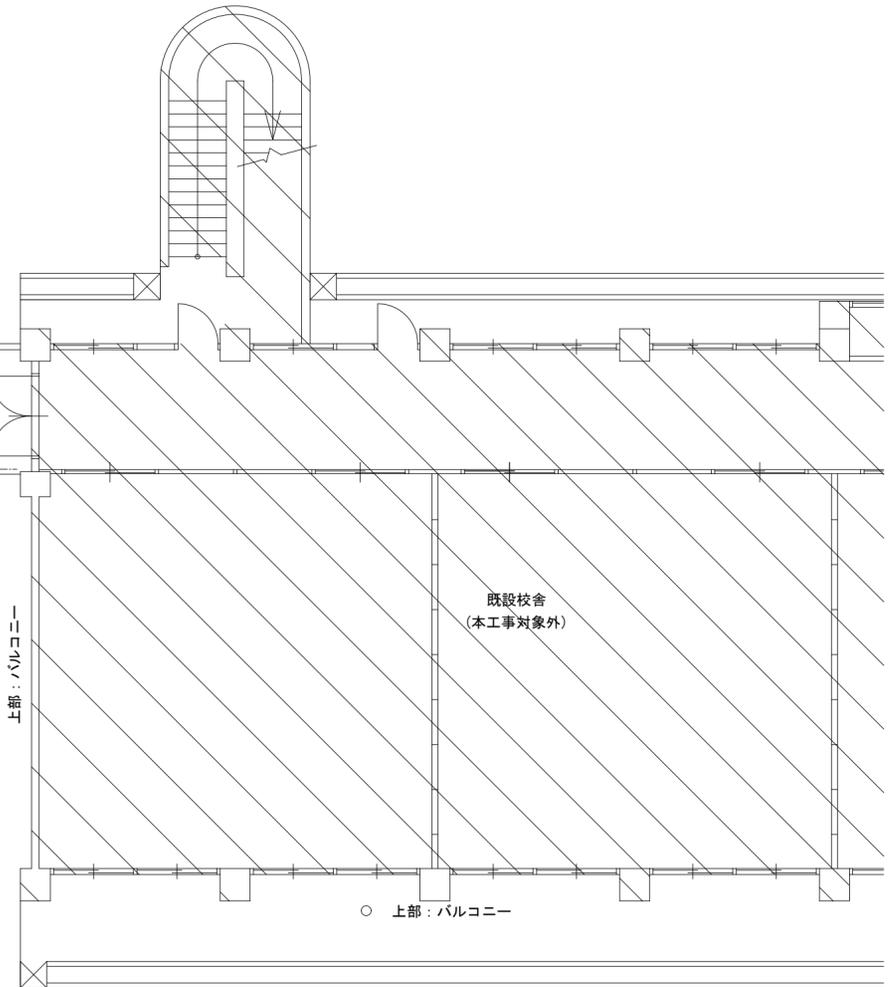
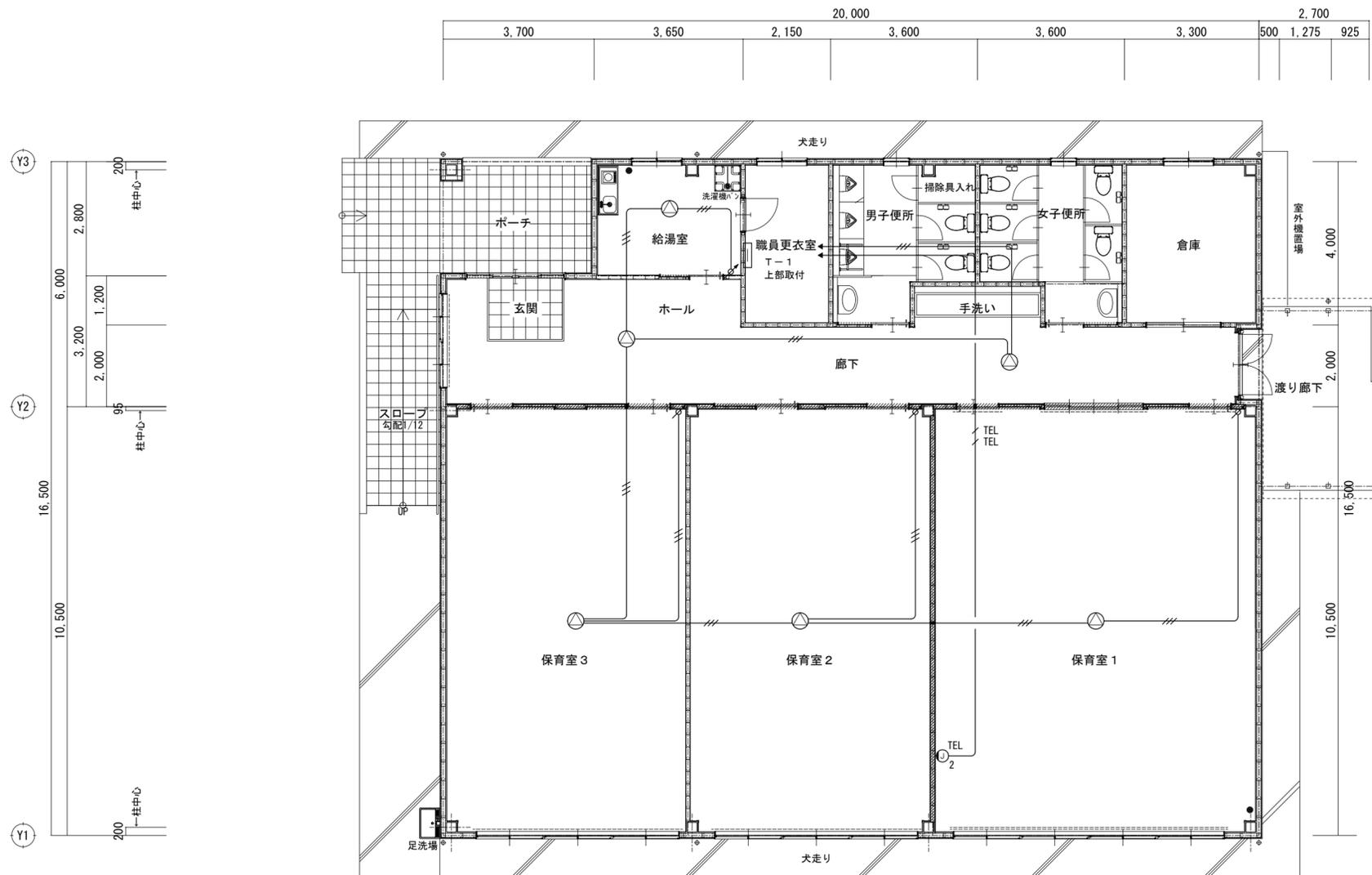
1階平面図 S=1:100

<注記> 図中明記なき配管配線は下記とする。  
但し、壁内はPF管保護とすること。

- EM-EFF1.6-2C
- EM-EFF1.6-3C (107-ス)
- EM-EFF1.6-3C
- 2.0 EM-EFF2.0-3C (107-ス)

凡 例 注記 スイッチにおいて (ネーム) と明記したものは全てネームスイッチとする。

記号	名称	摘要	参考型番
●	埋込スイッチ	1P15A 大角形 新金属プレート	
● D	"	1P10A 消し遅れ30秒 " "	
● 3	"	3W15A " "	
● 4	"	4W15A " "	
● L	"	1P4A (ランプ付) " "	
● A	自動点滅器	3A 点灯照度設定可能型	EE4413K パナニック同等品
▽ <sub>a</sub>	熱線センサースイッチ	親器 天井埋込	WTK24818 パナニック同等品
▽ <sub>b</sub>	"	子器 天井埋込	WTK2910K "
◆	切替スイッチ	1回路用 新金属プレート	WTC5820W "
⊕	埋込コンセント	2P15A-1 大角形 新金属プレート	
⊙	扇 風 機	壁掛型 既設品再取付	
—	防火区画	防火区画貫通措置	

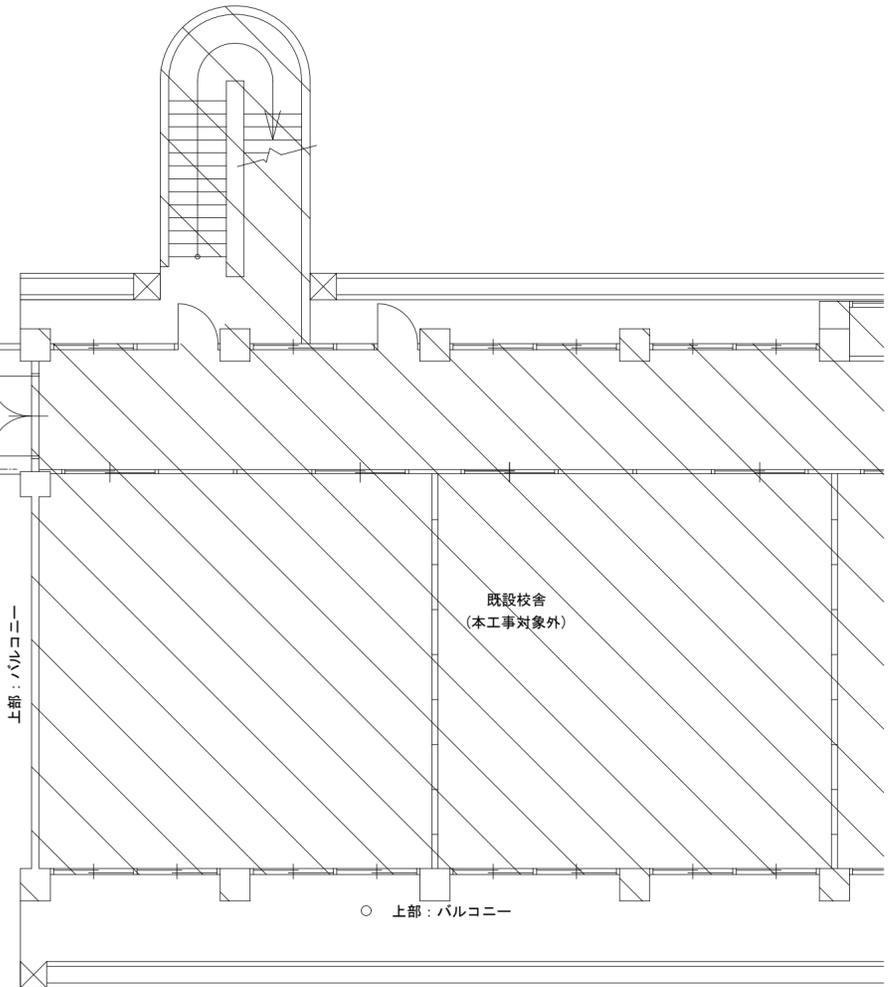
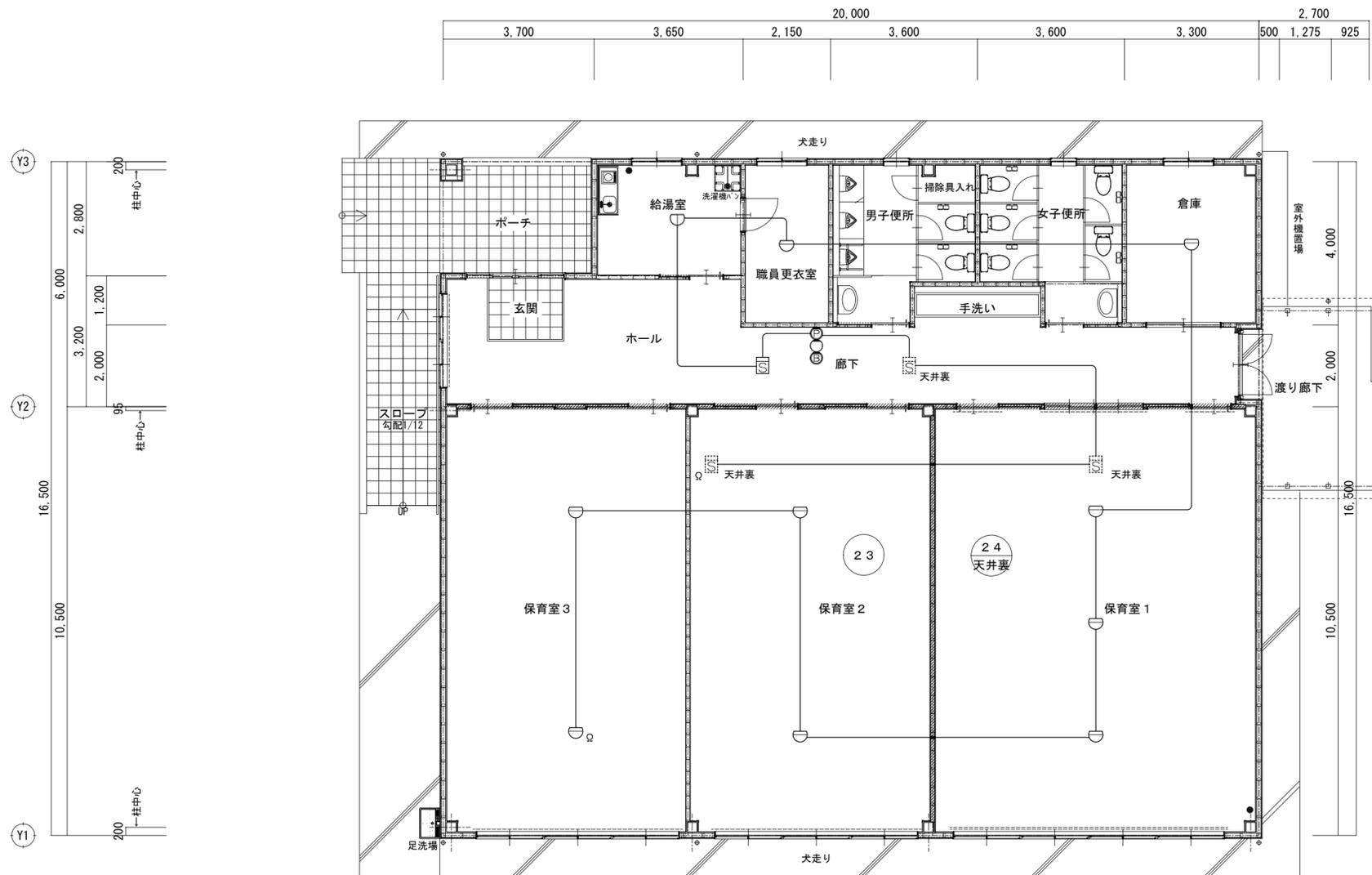


1階平面図 S=1:100

<注記> 図中明記なき配管配線は下記とする。  
但し、壁内はP F管保護とすること。

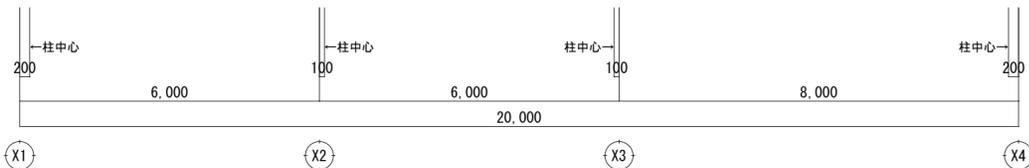
- EM-HP1.2-3C 放送
- TEL TEL ホン電話ケーブル M0.65-2P × 2

記号	名称	摘要
T-1	弱電盤	スチール製壁埋込形 指定色塗装仕上げ 放送、時計:10P端子 電話:10P端子 LAN:HUB TV:分配器 いずれもスペース確保のこと。
⊙	スピーカー	天井埋込形 3W 12cmタイプ (埋込穴150φ) 樹脂枠、アルミネット
⊘	アッテネータ	埋込形 入力:0.5~6W 新金属プレート
TEL ⊙ 2	電話コンセント	埋込形 TELモジュラー (4芯) × 2個口 アクリルボックス (鋼製) 中四浅形 1個用新金属プレート
—	防火区画	防火区画貫通措置



<注記> 図中明記なき配管配線は下記とする。  
但し、壁内はPF管保護とすること。

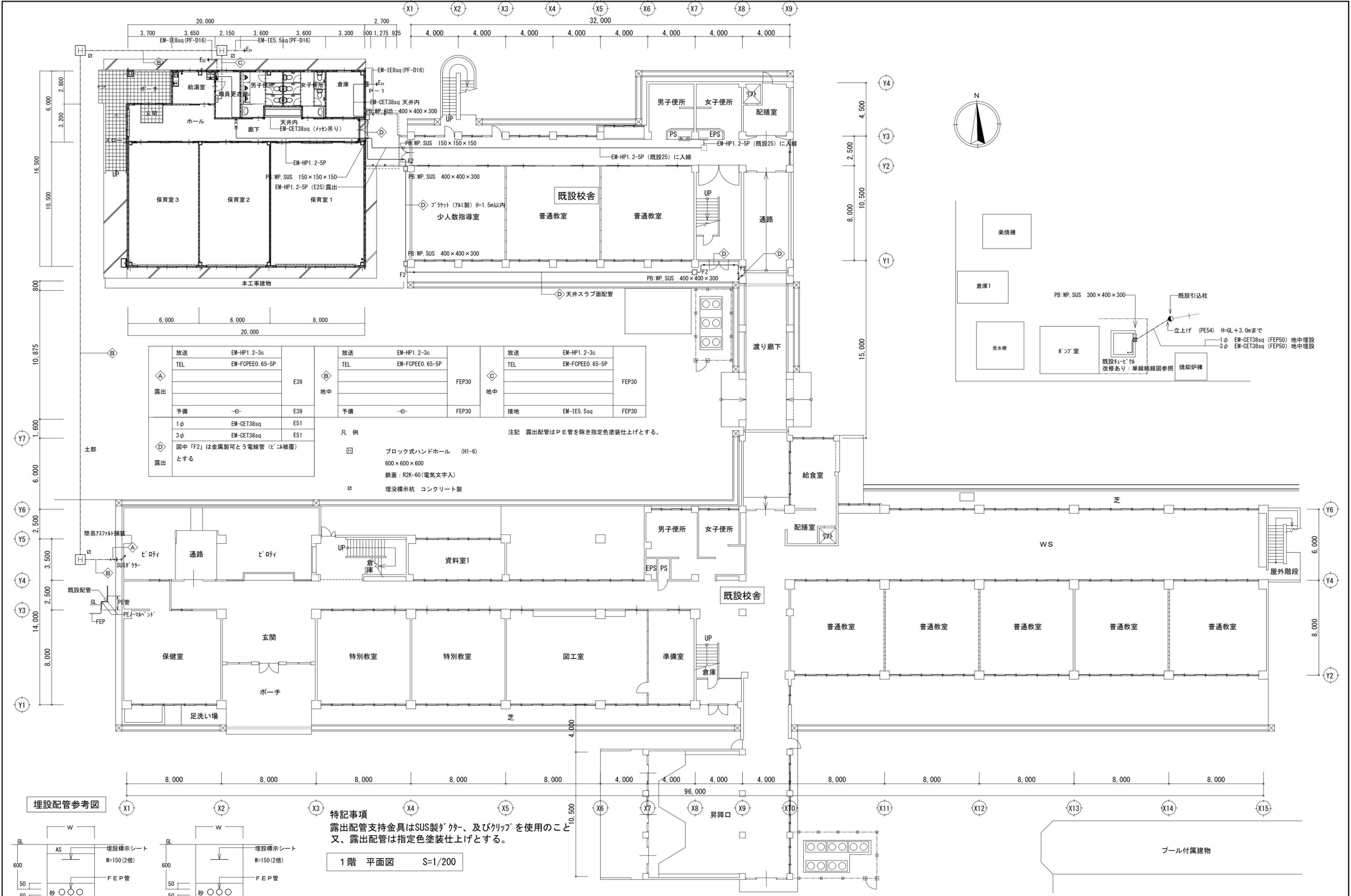
EM-AE1.2-2C



1階平面図 S=1:100

凡例

記号	名称	摘要
Ⓟ	発信機	P-1 埋込型
○	ランプ	赤色LEDランプ
Ⓚ	ベル	150φ
Ⓢ	差動式スポット型感知器	2種
Ⓣ	定温式スポット型感知器	1種 防水型
Ⓜ	煙感知器	光電式 2種
Ⓝ	警戒区域番号	
—■—	防火区画	防火区画貫通措置

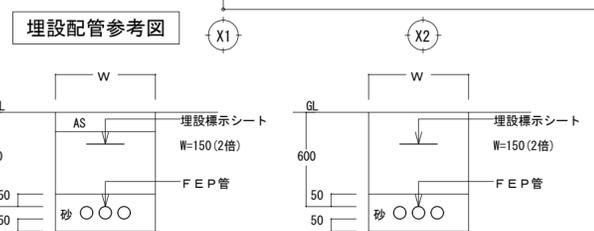


放送	EM-HP1. 2-3c	放送	EM-HP1. 2-3c	放送	EM-HP1. 2-3c
TEL	EM-FCPEE0. 65-5P	TEL	EM-FCPEE0. 65-5P	TEL	EM-FCPEE0. 65-5P
予備	-	予備	-	予備	-
1φ	EM-CET38sq (E51)	1φ	EM-CET38sq (E51)	1φ	EM-CET38sq (E51)
3φ	EM-CET38sq (E51)	3φ	EM-CET38sq (E51)	3φ	EM-CET38sq (E51)

凡例

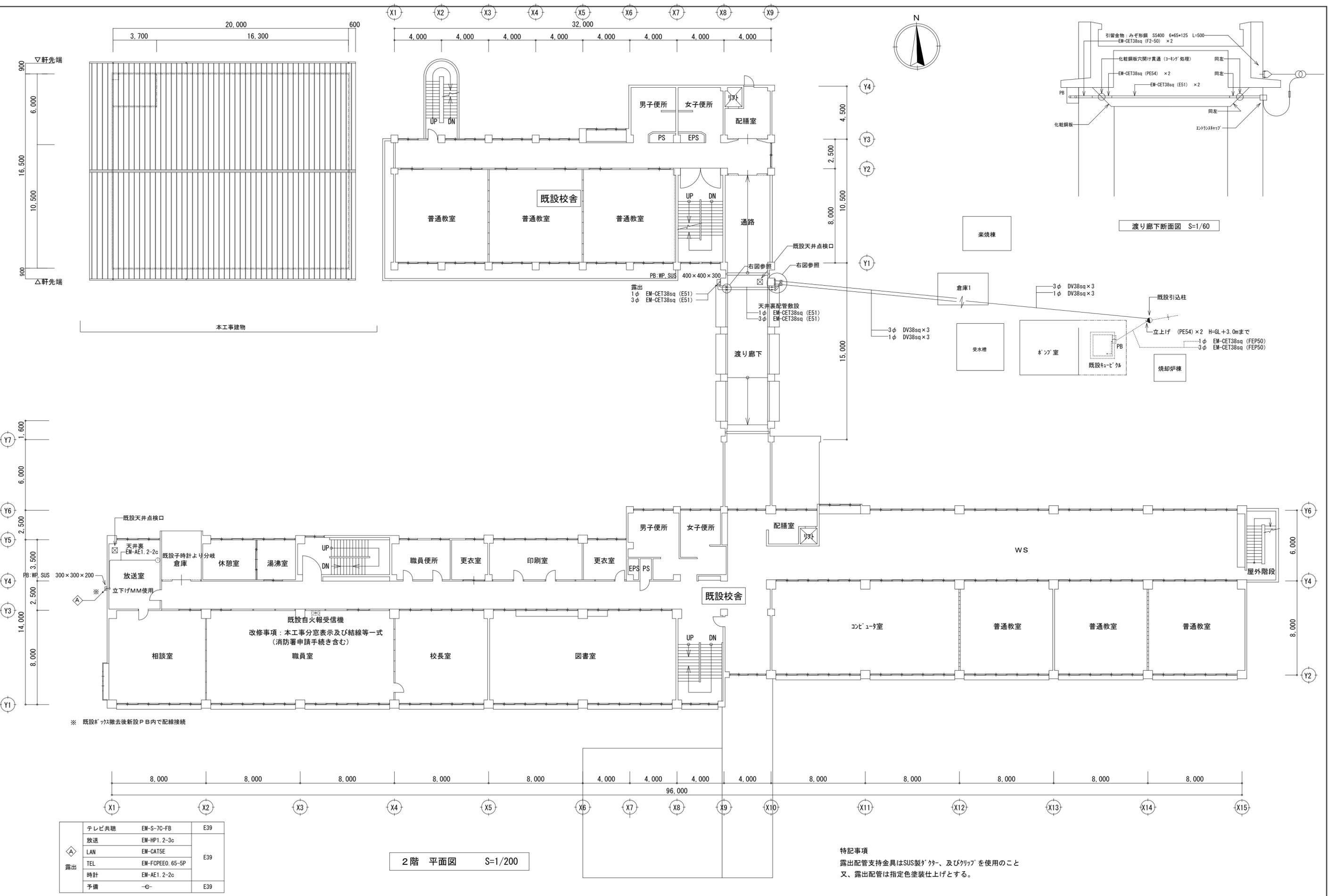
- ブロック式ハンドホール (H1-6) 600×600×600
- 鉄蓋: R2K-60(電気文字入)
- 埋設標示杭 コンクリート製

注記 露出配管はPE管を除き指定色塗装仕上げとする。



特記事項  
露出配管支持金具はSUS製がター、及びクリップを使用のこ  
又、露出配管は指定色塗装仕上げとする。

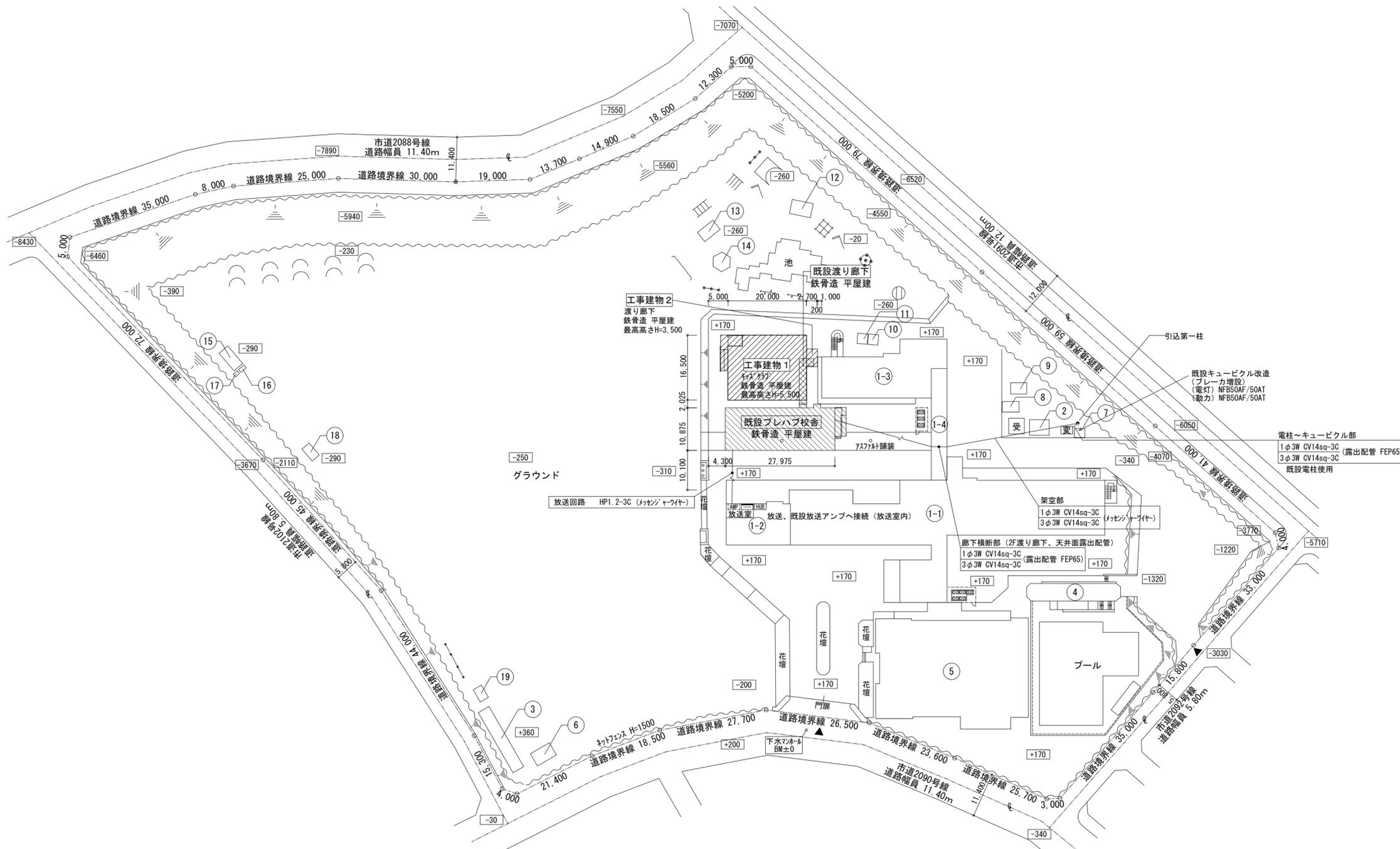
1階 平面図 S=1/200



露出	テレビ共聴	EM-S-7C-FB	E39
	放送	EM-HP1.2-3c	E39
	LAN	EM-CAT5E	
	TEL	EM-FCPEE0.65-5P	E39
	時計	EM-AE1.2-2c	
	予備	-G-	E39

2階 平面図 S=1/200

特記事項  
露出配管支持金具はSUS製が、及びクワを使用すること  
又、露出配管は指定色塗装仕上げとする。



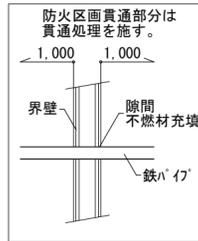
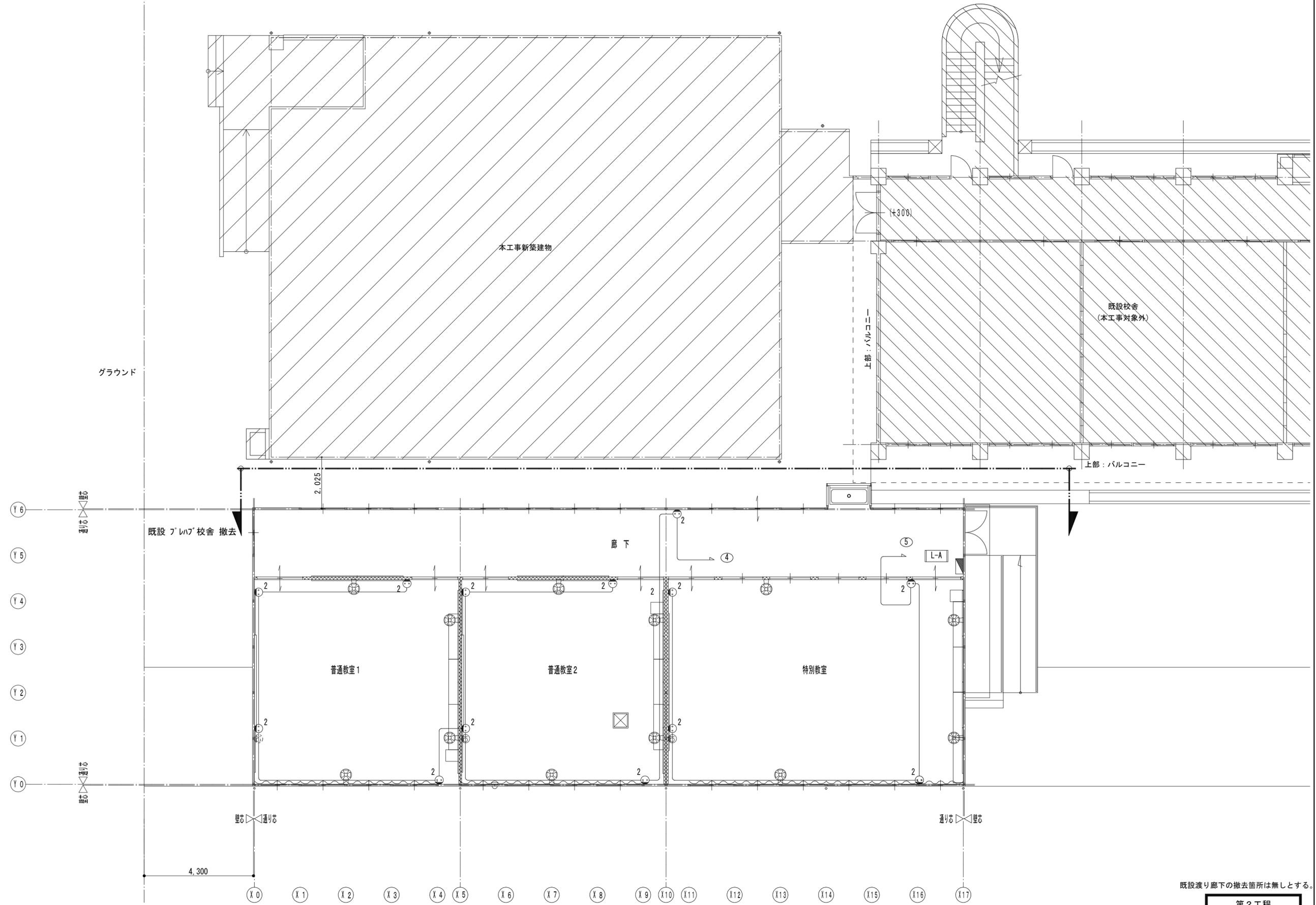
屋外電気設備図 S=1/800

図中電気設備配管配線を撤去する。

番号	建物名称	構造	階数
(1-1)	南舎	RC造	3階
(1-2)	北舎	RC造	3階
(1-3)	渡り廊下	RC造	2階
合計			3階
(2)	ホール室	RC造	1階
(3)	体育器具庫	RC造	1階
(4)	プール附属棟	RC造	1階
(5)	屋内運動場	S造	1階
(6)	屋外トイレ	S造	1階
(7)	焼却炉棟	S造	1階
(8)	倉庫1	S造	1階
(9)	楽焼棟	CB造	1階
(10)	倉庫2	S造	1階
(11)	倉庫3	S造	1階
(12)	動物飼育小屋1	S造	1階
(13)	動物飼育小屋2	木造	1階
(14)	動物飼育小屋3	木造	1階
(15)	更衣室	CB造	1階
(16)	倉庫4	S造	1階
(17)	倉庫5	S造	1階
(18)	防災倉庫	S造	1階
(19)	倉庫6	S造	1階
合計			

特記事項  
 ※ 第1工程（既設 渡り廊下）は本工事新築建物の工事前に解体撤去とする。  
 ※ 第2工程（既設 プレハブ校舎）は本工事新築建物の完成・移設完了後に解体撤去とする。

	本工事対象建物 新築工事を示す
	本工事対象建物 解体工事を示す
	BMからのレベル高さを示す
	敷地出入口を示す



コンセント回路 WF2.0-2C  
WF2.0-3C

コンセント設備図 S=1/100

第2工程  
既設プレハブ校舎 撤去

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

**株式会社 山田建築事務所**  
YAMADA ARCHITECT OFFICE 一級建築士184560号 山田 克弘

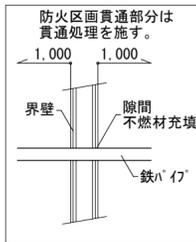
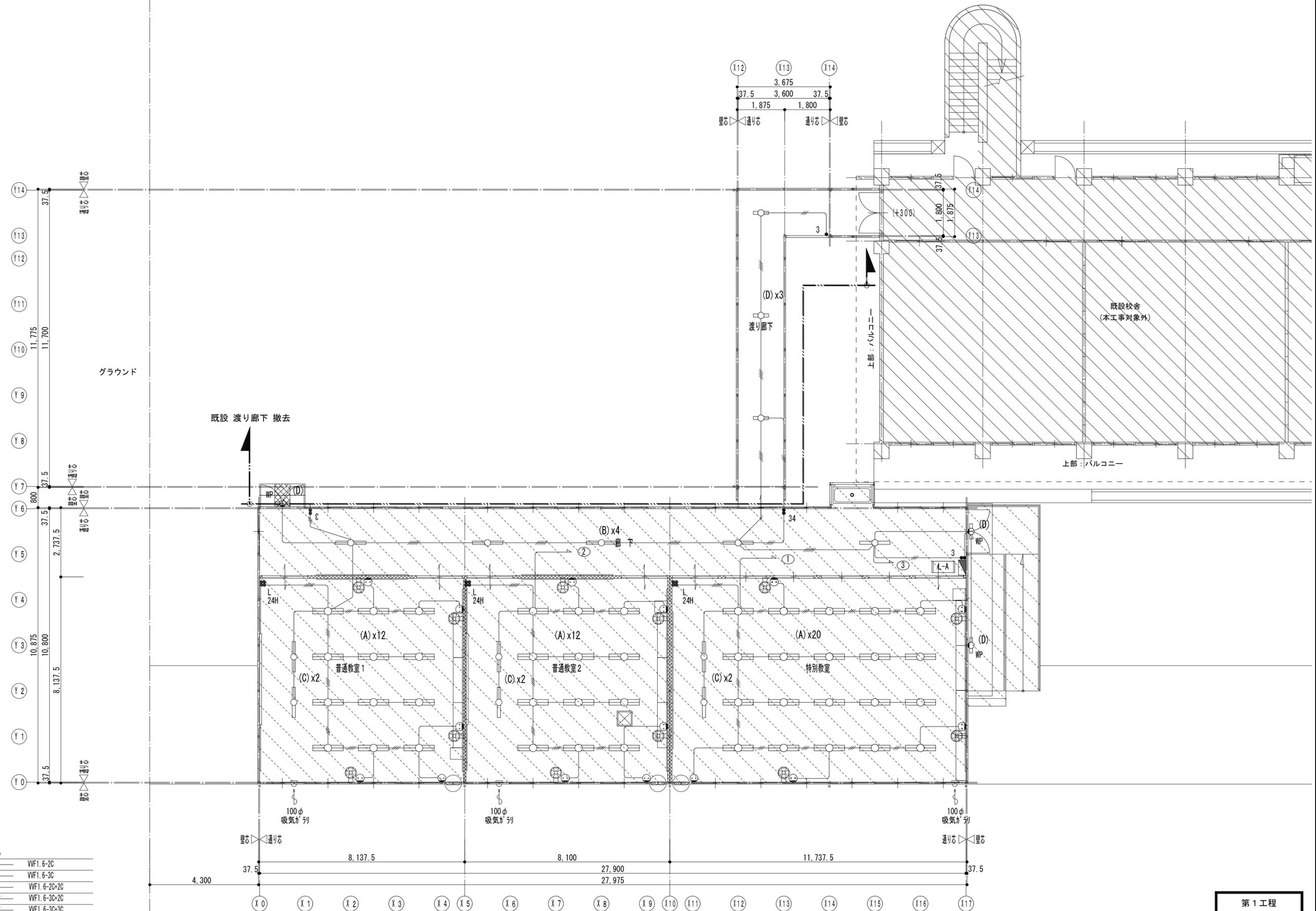
CHECK	DESIGN	DRAW

SCALE  
A2: S=1/100  
A3: S=1/141  
DATE  
平成29年8月

可児市立桜ヶ丘小学校キッズクラブ新築工事  
既設プレハブ校舎 コンセント設備図

【解体撤去図】

SHEET NO.  
E - 11



特記なき配線は下記による

電灯回路	WF1.6-2C
	WF1.6-3C
	WF1.6-2C+2C
	WF1.6-3C+2C
	WF1.6-3C+3C

電灯設備図 S=1/100

第1工程  
既設 渡り廊下 撤去

株式会社 山田建築事務所

YAMADA ARCHITECT OFFICE 一級建築士184560号 山田 克弘

CHECK DESIGN DRAW

SCALE  
A2 : S=1/100  
A3 : S=1/141  
DATE  
平成29年8月

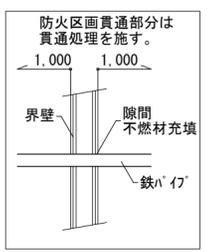
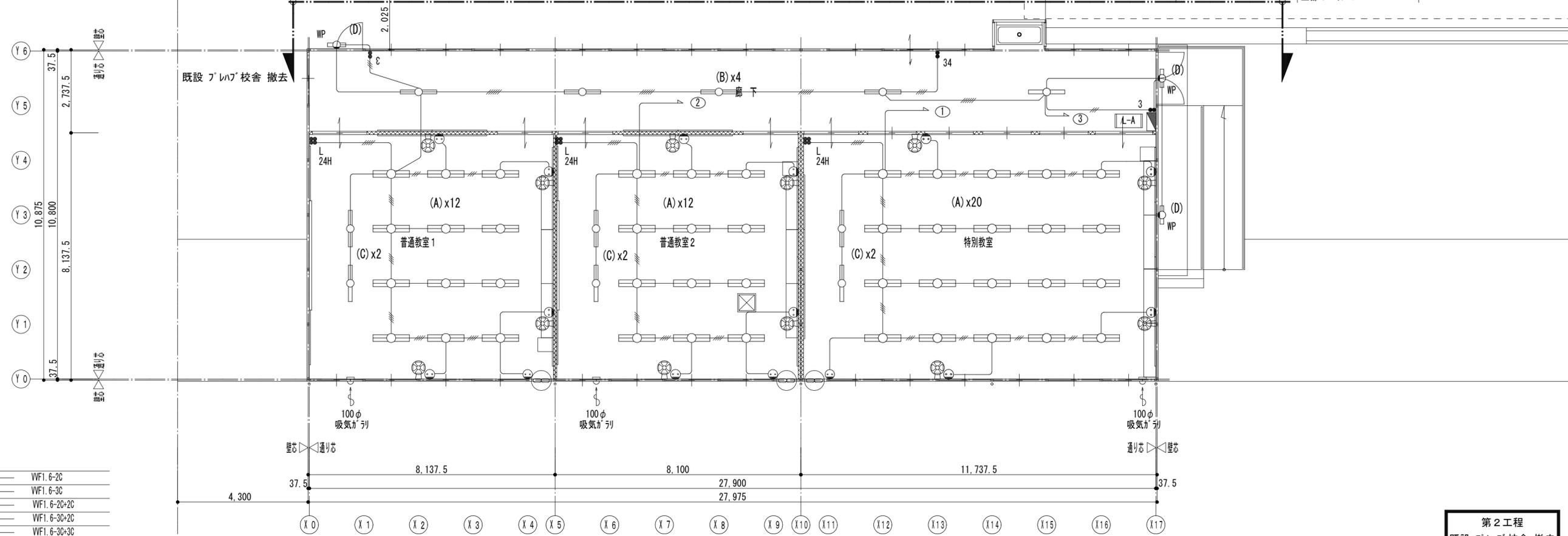
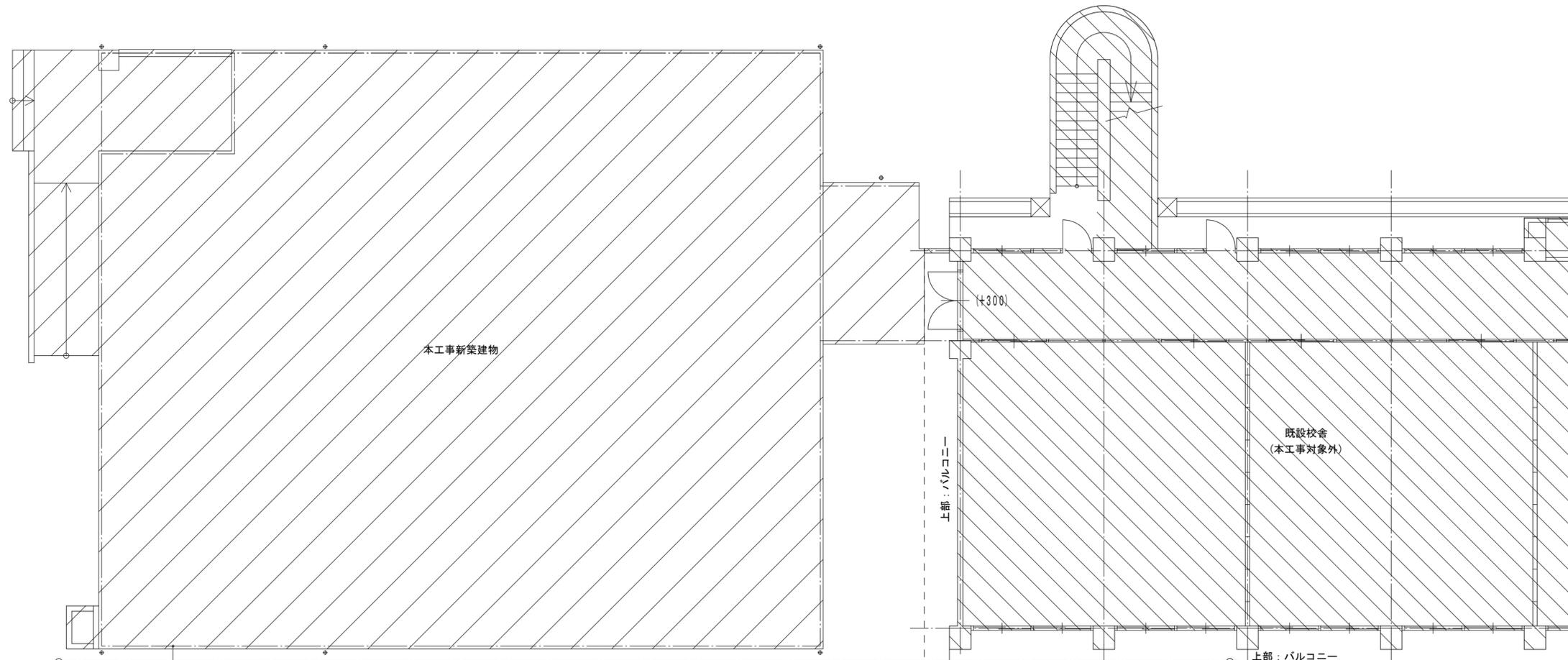
可児市立桜ヶ丘小学校キッズクラブ新築工事

【解体撤去図】

既設プレハブ校舎 電灯設備図(1)

SHEET NO.

E - 12



特記なき配線は下記による

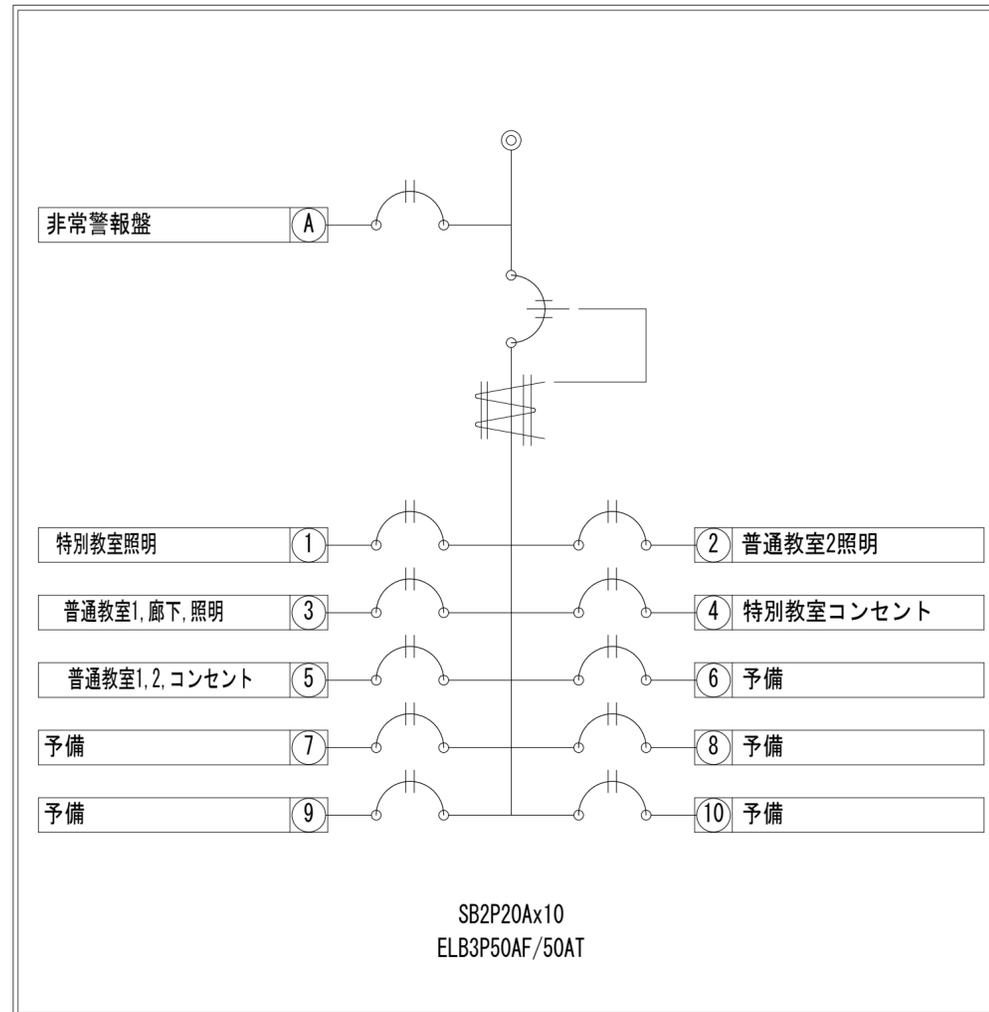
電灯回路	WVF1.6-2C
	WVF1.6-3C
	WVF1.6-2C+2C
	WVF1.6-3C+2C
	WVF1.6-3C+3C

電灯設備図 S=1/100

第2工程  
既設プレハブ校舎 撤去

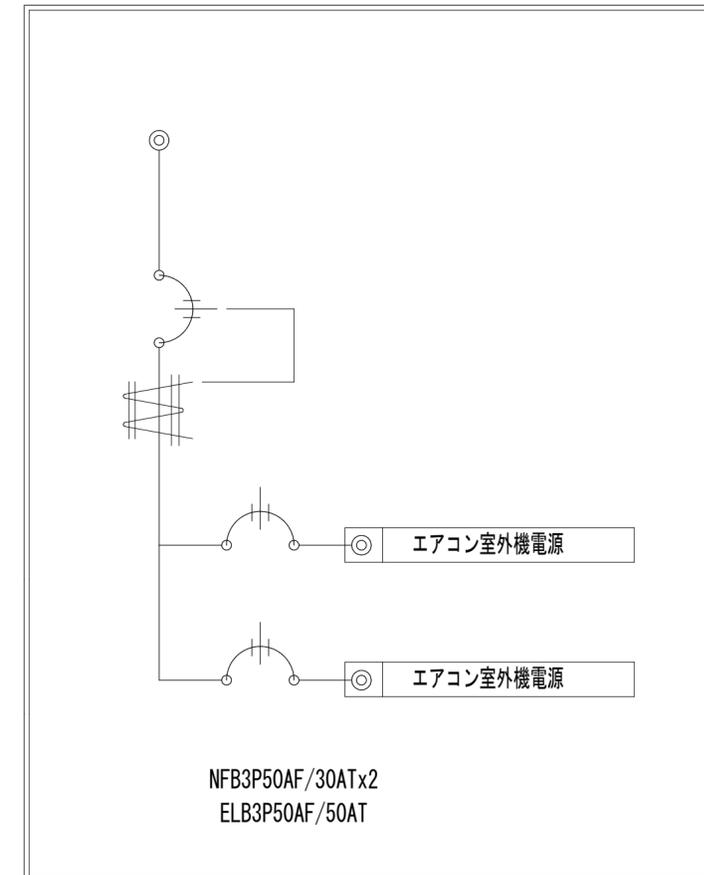
照明器具姿図

(A)	逆富士 HF32Wx2	(B)	逆富士 HF32Wx1
(C)	黒板灯 HF32Wx1	(D)	防水 FL20Wx1



L-A

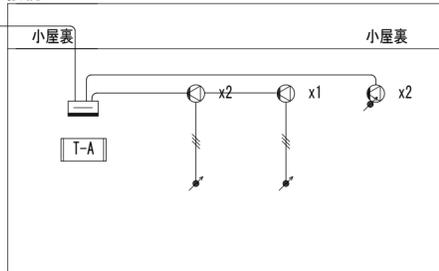
照明姿図・盤図



M-A

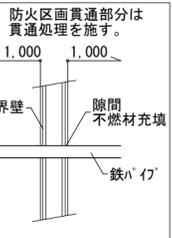
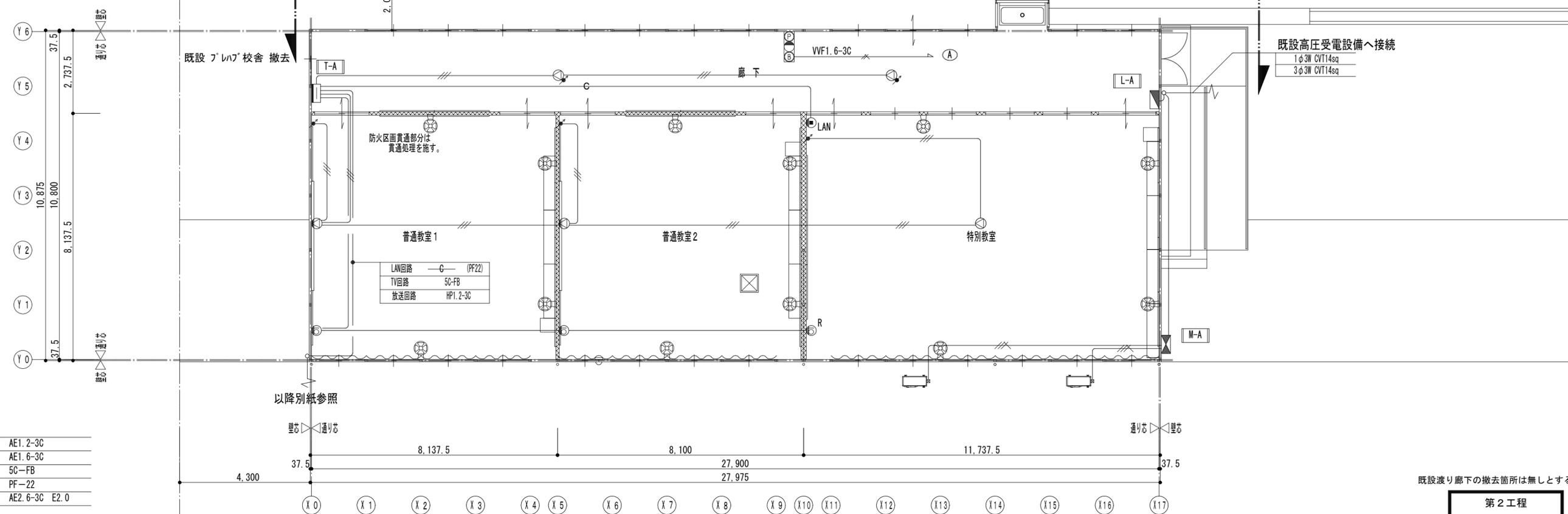
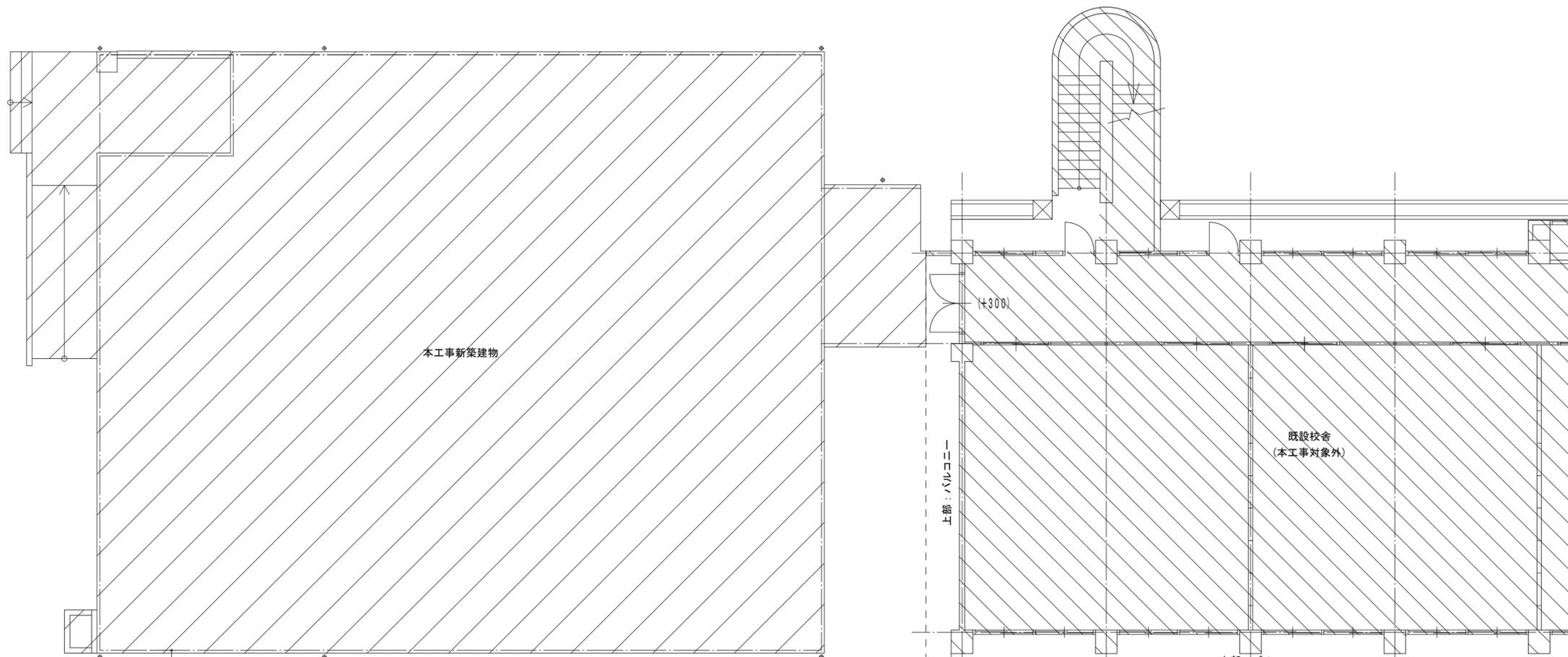
非常放送設備系統図

既設放送室  
アンプへ接続



記号	名称	個数
⊙	スピーカー 壁付用 アッテネーター無し	1個
⊙	スピーカー 天井用 アッテネーター付き	1個
⊙	アッテネーター	1個
□	弱電端子盤	1面
No.	各種盤表示番号	
⊙	警報盤	1面

グラウンド



特記なき配線は下記による

放送回路	AE1.2-3C
非常警報回路	AE1.6-3C
TV回路	5C-FB
LAN回路	PF-22
動力回路	AE2.6-3C E2.0

動力・弱電・非常警報設備図 S=1/100

既設渡り廊下の撤去箇所は無しとする。

第2工程  
既設プレハブ校舎 撤去

株式会社 山田建築事務所

YAMADA ARCHITECT OFFICE 一級建築士184560号 山田 克弘

CHECK DESIGN DRAW

SCALE A2: S=1/100 A3: S=1/141

DATE 平成29年8月

可児市立桜ヶ丘小学校キッズクラブ新築工事

【解体撤去図】

既設プレハブ校舎 動力・弱電・非常警報設備図

SHEET NO.

E-15

<p>工事名称 <b>可児市立桜ヶ丘小学校キッズクラブ新築工事</b></p> <p style="text-align: center;"><b>機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書</b></p> <p>I 工事概要</p> <p>1 工事場所 岐阜県可児市桜ヶ丘5丁目55-2</p> <p>2 建物概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建物名称</th> <th>構造及び階数</th> <th>延面積 (㎡)</th> <th>消 施 令 の 適 用</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">新築工事</td> <td>キッズクラブ</td> <td>鉄骨造 平屋建て</td> <td>319.64</td> <td>別表第1(15)項</td> </tr> <tr> <td>渡り廊下</td> <td>鉄骨造 平屋建て</td> <td>11.96</td> <td>別表第1(15)項</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">解体工事</td> <td>旧キッズクラブ</td> <td>鉄骨造 軽量鉄骨ブレース構造</td> <td>305.85</td> <td>別表第1( )項</td> </tr> <tr> <td>旧渡り廊下</td> <td>鉄骨造 軽量鉄骨ブレース構造</td> <td>25.46</td> <td>別表第1( )項</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>別表第1( )項</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 工事種目 (○印のついた設備工事一式を適用する)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工事種目</th> <th colspan="5">工 事 種 別</th> </tr> <tr> <th>キッズクラブ</th> <th>渡り廊下</th> <th>解体 旧キッズクラブ</th> <th>解体 旧渡り廊下</th> <th>屋 外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>空調設備</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>換気設備</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>衛生器具設備</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>屋内給水設備</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>屋外給水設備</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>屋内排水設備</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>屋外排水設備</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>消火設備</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>給湯設備</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ガス設備</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>し尿浄化槽設備</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>さく井設備</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>厨房機器設備</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>4 設備概要 (○印をつけたものが該当項目となる)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>方式及び種類</th> <th colspan="2">方式及び種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○空調方式</td> <td>空気調和</td> <td>・ダクト方式 ○パッケージ方式 ・ファンコイルダクト方式</td> </tr> <tr> <td>・暖房方式</td> <td>温風暖房</td> <td>・ダクト方式</td> </tr> <tr> <td>・自動制御方式</td> <td>・電気式</td> <td>・空気式 ・電子式</td> </tr> <tr> <td>○給水方式</td> <td>・水道直結方式</td> <td>○高置水槽方式 ・圧力タンク方式 (・市水 ・井水)</td> </tr> <tr> <td>○排水方式</td> <td>建物内汚水、雑排水 (○分流 ・合流)</td> <td>建物外放流先 汚水 (○直放流水管 ・し尿浄化槽) 雑排水 (○直放流水管 ・合併処理槽 ・側溝)</td> </tr> <tr> <td>・消火設備の種類</td> <td>・屋内消火栓設備</td> <td>・スプリンクラー設備 ・泡消火設備 ・連結散水設備 ・粉末消火設備 ・連結送水管設備 ・屋外消火栓設備</td> </tr> <tr> <td>・ガスの種類</td> <td>・都市ガス</td> <td>・液化石油ガス (発熱量: 46,000 KJ/m<sup>3</sup> KJ/kg)</td> </tr> </tbody> </table>						建物名称	構造及び階数	延面積 (㎡)	消 施 令 の 適 用	備 考	新築工事	キッズクラブ	鉄骨造 平屋建て	319.64	別表第1(15)項	渡り廊下	鉄骨造 平屋建て	11.96	別表第1(15)項	解体工事	旧キッズクラブ	鉄骨造 軽量鉄骨ブレース構造	305.85	別表第1( )項	旧渡り廊下	鉄骨造 軽量鉄骨ブレース構造	25.46	別表第1( )項					別表第1( )項	工事種目	工 事 種 別					キッズクラブ	渡り廊下	解体 旧キッズクラブ	解体 旧渡り廊下	屋 外	空調設備	○		○			換気設備	○					衛生器具設備	○					屋内給水設備	○					屋外給水設備	○		○			屋内排水設備	○					屋外排水設備			○			消火設備						給湯設備						ガス設備						し尿浄化槽設備						さく井設備						厨房機器設備						方式及び種類	方式及び種類		○空調方式	空気調和	・ダクト方式 ○パッケージ方式 ・ファンコイルダクト方式	・暖房方式	温風暖房	・ダクト方式	・自動制御方式	・電気式	・空気式 ・電子式	○給水方式	・水道直結方式	○高置水槽方式 ・圧力タンク方式 (・市水 ・井水)	○排水方式	建物内汚水、雑排水 (○分流 ・合流)	建物外放流先 汚水 (○直放流水管 ・し尿浄化槽) 雑排水 (○直放流水管 ・合併処理槽 ・側溝)	・消火設備の種類	・屋内消火栓設備	・スプリンクラー設備 ・泡消火設備 ・連結散水設備 ・粉末消火設備 ・連結送水管設備 ・屋外消火栓設備	・ガスの種類	・都市ガス	・液化石油ガス (発熱量: 46,000 KJ/m <sup>3</sup> KJ/kg)
建物名称	構造及び階数	延面積 (㎡)	消 施 令 の 適 用	備 考																																																																																																																																														
新築工事	キッズクラブ	鉄骨造 平屋建て	319.64	別表第1(15)項																																																																																																																																														
	渡り廊下	鉄骨造 平屋建て	11.96	別表第1(15)項																																																																																																																																														
解体工事	旧キッズクラブ	鉄骨造 軽量鉄骨ブレース構造	305.85	別表第1( )項																																																																																																																																														
	旧渡り廊下	鉄骨造 軽量鉄骨ブレース構造	25.46	別表第1( )項																																																																																																																																														
				別表第1( )項																																																																																																																																														
工事種目	工 事 種 別																																																																																																																																																	
	キッズクラブ	渡り廊下	解体 旧キッズクラブ	解体 旧渡り廊下	屋 外																																																																																																																																													
空調設備	○		○																																																																																																																																															
換気設備	○																																																																																																																																																	
衛生器具設備	○																																																																																																																																																	
屋内給水設備	○																																																																																																																																																	
屋外給水設備	○		○																																																																																																																																															
屋内排水設備	○																																																																																																																																																	
屋外排水設備			○																																																																																																																																															
消火設備																																																																																																																																																		
給湯設備																																																																																																																																																		
ガス設備																																																																																																																																																		
し尿浄化槽設備																																																																																																																																																		
さく井設備																																																																																																																																																		
厨房機器設備																																																																																																																																																		
方式及び種類	方式及び種類																																																																																																																																																	
○空調方式	空気調和	・ダクト方式 ○パッケージ方式 ・ファンコイルダクト方式																																																																																																																																																
・暖房方式	温風暖房	・ダクト方式																																																																																																																																																
・自動制御方式	・電気式	・空気式 ・電子式																																																																																																																																																
○給水方式	・水道直結方式	○高置水槽方式 ・圧力タンク方式 (・市水 ・井水)																																																																																																																																																
○排水方式	建物内汚水、雑排水 (○分流 ・合流)	建物外放流先 汚水 (○直放流水管 ・し尿浄化槽) 雑排水 (○直放流水管 ・合併処理槽 ・側溝)																																																																																																																																																
・消火設備の種類	・屋内消火栓設備	・スプリンクラー設備 ・泡消火設備 ・連結散水設備 ・粉末消火設備 ・連結送水管設備 ・屋外消火栓設備																																																																																																																																																
・ガスの種類	・都市ガス	・液化石油ガス (発熱量: 46,000 KJ/m <sup>3</sup> KJ/kg)																																																																																																																																																
II 工事仕様	<p>1 共通仕様</p> <p>図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編 最新版)、公共建築設備工事標準図(機械設備工事編 最新版)及び監督職員の指示による。 ○ 可児市建設工事共通仕様書(可児市HPにて閲覧可)</p> <p>2 特記仕様</p> <p>項目は、番号に○印のついたものを適用する。特記事項は、無印あるいは○印のついたものを適用する。</p>																																																																																																																																																	
分類	項目	特記事項																																																																																																																																																
一般 共通 事項	①	主任技術者等																																																																																																																																																
	②	技能士の適用																																																																																																																																																
	③	工用電力・水・その他																																																																																																																																																
	4	工用仮設備																																																																																																																																																
	⑤	残土処分																																																																																																																																																
	⑥	埋め戻し土																																																																																																																																																
	7	使用砕石																																																																																																																																																
	⑧	アスファルト舗装																																																																																																																																																
	9	コンクリートの調合																																																																																																																																																
	⑩	発生材の処理																																																																																																																																																
	⑪	完成図書・その他																																																																																																																																																
	⑫	完成写真及び 工程写真																																																																																																																																																
	⑬	測定表																																																																																																																																																
	⑭	容量等の表示																																																																																																																																																
	⑮	耐震施工																																																																																																																																																
⑯	スリーブ																																																																																																																																																	
17	防振吊り金物及び 防振支持金物																																																																																																																																																	
⑱	建物導入部の施工																																																																																																																																																	
⑲	電線及び電線管等																																																																																																																																																	
⑳	地中埋設標																																																																																																																																																	
㉑	弁の耐圧																																																																																																																																																	
	22	鑄鉄製弁類																																																																																																																																																

分類	項目	特記事項			
一般 共通 事項	①	主任技術者等			
	②	技能士の適用			
	③	工用電力・水・その他			
	4	工用仮設備			
	⑤	残土処分			
	⑥	埋め戻し土			
	7	使用砕石			
	⑧	アスファルト舗装			
	9	コンクリートの調合			
	⑩	発生材の処理			
	⑪	完成図書・その他			
	⑫	完成写真及び 工程写真			
	⑬	測定表			
	⑭	容量等の表示			
	⑮	耐震施工			
⑯	スリーブ				
17	防振吊り金物及び 防振支持金物				
⑱	建物導入部の施工				
⑲	電線及び電線管等				
⑳	地中埋設標				
㉑	弁の耐圧				
	22	鑄鉄製弁類			

分類	項目	特記事項				
一般 共通 事項	23	防振継手				
	24	防食処置				
	⑳	保温工事				
	26	天井仕上げ区分				
	㉑	地中配管埋設深さ				
	28	水質検査(11項目)				
	㉒	引渡し後の検査				
	空 気 調 和 設 備	①	設計条件 (調整目標値)			
		②	パッケージ形空調和機			
		3	煤煙濃度計			
		4	煤じん量測定口			
		5	膨張タンク			
		6	遠隔油量指示計			
		7	ダクト			
		8	チャンパー等			
9		吹出口、吸込口				
10		保温				
11		ビストンダンパー				
12		瞬間流量計				
13		温度計				
14		圧力計				
15		空調機器の電動機出力				
換 気 設 備	1	ダクト				
	2	吹出口、吸込口				
	3	ビストンダンパー				
衛 生 器 具 設 備	①	大便器洗浄弁				
	2	すみ付ロータンク				
	③	小便器洗浄管				
	④	掃除流し				
	⑤	水栓				
	6	耐火カバー				

合成ゴム製(円筒形使用の場合の全長は、下記による)  
 呼称80A以下は、300mm以上とする。  
 呼称100A以上125A以下は、400mm以上とする。  
 呼称150A以上250A以下は、500mm以上とする。  
 土中埋設の鋼管類(油配管を除く)の防食材は、  
 (・防食用プライマー ・ペトロラタム系 ・ブチルゴム系)とする。

a 保温材 GW又は、RW保温筒  
 室内に△印を付した部屋は、天井材を貼らない部屋を示す。  
 車輻通路では、管の上端より600mm以上とする。

受水槽室、給食室、上水道引込工事、給水本管(40A以上)工事では実施する。  
 引渡し後の検査時期は下記により、請負者は検査に立会うものとする。  
 ○引渡し1年後 ・引渡し2年後

	屋 外		屋 内	
	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)
夏 期	36.6 °C	51.8 %	27.0 °C	50.0 %
冬 期	0.2 °C	56.5 %	20.0 °C	40.0 %

a 電気ヒーター ( KW 以上)を組込む場合は、送風機に残留運転回路を設ける。  
 b 冷暖房の能力は、J I S B 8 6 1 6による表示とする。  
 c 冷媒管の保温は、国土交通省仕様による。ただし屋外露出部分は、(○ ステンレス鋼板 ・亜鉛鍍金鋼板) 屋内露出部分は、(・ ステンレス鋼板 ・着色亜鉛鍍金鋼板)によりラッキングを行う。  
 d 圧縮機用電動機の合計出力が KW未満は、すべて製造者の標準仕様による。  
 ・設けない  
 ・設けない (口径80A以上)  
 ・ステンレス鋼板製 (S U S - 4 4 4) ・鋼板製  
 指示計は、屋内と屋外に設ける。  
 矩形ダクトは、(・アングルフランジ工法 ・共板フランジ工法 ・スライドフランジ工法)による低圧ダクトとする。但し、共板フランジ工法、スライドフランジ工法の使用範囲は、外長辺1,500mm以下とする。  
 a 空調和機の吸込側及び吐出側に接続するチャンパーの板厚は、1.2mm以上とする。  
 図示されたチャンパーには、寸法(・約400x500H ・約500x600H)の点検口を設ける。  
 内貼りを施すチャンパー等の表示寸法は、外法寸法とする。  
 b 隠蔽ダクトのフランジ部(補強を含む)はフランジ高さ10mmまで保温施工する。  
 アネモ形吹出口接続用ボックスは、吹出口のネック径200mm以下は、約400×400×250H、200mmを超えるものは、約500×500×300Hとする。  
 ・アルミニウム製 ・鋼製  
 a 外気取入ダクトのうち暖房室、浴室及び厨房内を通るダクトは、保温を行う。  
 復帰操作(・遠隔式 ・手元式)  
 ・設ける(検出部と指示部一体) ・設けない  
 取付箇所は、次による。  
 ユニット形空調和機 ・冷水ポンプ ・冷却水ポンプ  
 ヘッダーの各送り管  
 指示部を着脱可能なタイプを設ける。(取付箇所は、図示による)  
 瞬間流量計を設けない場合は、ピトー管式流量計用タッピングのみを設ける。  
 取付箇所は前記による。  
 温水ボイラー及びヘッダー(往、還)の温度計は、入口側のみに取付ける。  
 温度計は円形又はL形とし円形温度計の場合は、パイメタル式とし目盛板外径は、100mmとする。  
 設ける(・標準仕様による ・図示による)

空調機器の圧縮機、ファン用電動機出力は、空調機基本仕様(空調能力、送風量等)を満足すれば設計仕様と異なっても可とする。

空調和設備の7項による。  
 空調和設備の9項による。  
 空調和設備の11項による。

節水機構を有する洗浄弁を(○使用する ・使用しない)  
 防露タイプのロータンクを(・使用する ・使用しない)  
 ・埋込配管とする。  
 ・露出配管とする。  
 排水口は、(・目皿 ○鎖付き共栓)とする。  
 水栓(器具付属水栓を含む)は、  
 (○節水コマ ・吊りコマ ・普通コマ)とする。  
 防火区画を貫通する大便器は耐火カバーを取付ける。

分類	項目	特記事項	分類	特記事項	分類	特記事項							
屋内給水設備	1 タンク	据付架台は、製造者標準仕様の溶融亜鉛めっきとする。	ステンレス風道	1 適用	ステンレス	表-2 接合用フランジ 単位 (mm)							
	2 量水器	水道事業者の認定品とする。		ステンレス鋼板製風道に関する材料及び施工法は次による。			表-2 接合用フランジ 単位 (mm)						
屋外給水設備	3 機器基礎	ポンプ基礎は、(・標準基礎 ・防振基礎)とする。	2 風道用材料	ステンレス	風道	板の標準厚さ							
	1 引込み納付金	・要(・本工事 ・別途工事) ・不要	(1) ステンレス鋼板			接合用フランジ	フランジ取付用リベット	接合用ボルト					
屋内排水設備	2 量水器	・借用 ・本工事(水道事業者の認定品)	JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板)及びJIS G 4307(冷間圧延ステンレス鋼帯)によるSUS430で、JISマーク表示品とする。尚、表面仕上げはNo.2Bとする。	ステンレス	風道	山形鋼	最大間隔	呼び径(ステンレス)	ネジの呼び	ボルトの間隔			
	3 量水器	・水道事業者の規格品 ・標準図によるMC形	(2) 鋼材			JIS G 4317(冷間圧延ステンレス鋼等辺山形鋼)によるSUS304とする。	0.5	25×25×3	4.000	4.0	M8	100	
屋外排水設備	④ 埋設表示テープ	○設ける	イ 棒鋼	JIS G 4303(ステンレス棒鋼)によるSUS304とする。	ステンレス	風道	0.7	30×30×3	4.000	4.0	M8	100	
	① ステンレス流し	流し台(・本工事 ○別途工事)	ウ リベット	JIS G 1213(冷間成形リベット)に準ずるステンレス(SUS304)製とする。			0.8	40×40×3	2.000	4.0	M8	100	
屋内排水設備	② 試験	トラップ(・本工事 ○別途工事)	エ ボルト及びナット	JIS G 1180(六角ボルト)及びJIS B 1181(六角ナット)に準ずるステンレス(SUS304)製とする。	ステンレス	風道	1.0	40×40×5	2.000	4.0	M8	100	
	3 排水鉛管の支持	排水鉛管の支持金具は、ゴム等にて保護して支持する。	オ フランジ用パッキン	石綿系以外のものにて自己消燃性及び気密性を有するものとする。尚、厚さは3mm以上とする。			① 風道の補強	① 表-3及び表-4による山形鋼補強とする。尚、補強山形鋼の製作及び加工は、接合用フランジに準ずる。					
屋外排水設備	④ 排水用鉛管を	排水用鉛管を ・使用する ○使用しない	カ 溶接棒	JIS Z 3221(ステンレス鋼被覆アーク溶接棒)、JIS Z 3321(溶接用ステンレス鋼棒及びワイヤー)による。	ステンレス	風道	② 補強材と風道との取付はリベットを原則とする。ただし、板厚1.0mm以上の風道においてはアーク溶接(最大溶接間隔100mm以下)でも良い。						
	5 その他	ステンレス製流しの床上部分の配管は、VP管を使用してもよい。	(3) 風道付属品	次による他は亜鉛鉄板製風道の風道付属品当該事項による。			③ 長辺が450mmを超える風道には、間隔300mm以下のピッチで補強リブまたは間隔500mm以下で表-3、表-4により補強する。						
消火設備	1 消火栓弁の耐圧	・1Mpa ・1.6Mpa	ア 吹出口及び吸込口		ステンレス	風道	表-3 風道の横方向の補強 単位 (mm)						
	2 屋内消火栓箱	・易操作性1号屋内消火栓 ・1号屋内消火栓 ・2号屋内消火栓	(7) ユニバーサル形吹出口の取付枠、可動羽根及び背部のシャッターはステンレス鋼板製とし取付枠の板厚は0.8mm以上とする。	(4) 吸込口の取付枠、シャッター及びスリットはステンレス鋼板製とする。尚、シャッターの板厚は0.8mm以上とする。			板の標準厚さ	山形鋼	最大間隔	山形鋼取付用リベット			
給湯設備	1 配管の接続法	一般配管用ステンレス鋼管の接続は、原則メカニカルジョイントとする。	イ 風量調整ダンパー	ケーシング及び可動羽根は板厚1.0mm以上のステンレス鋼板製、ダンパー軸はステンレス鋼棒製軸受けは青銅、黄銅、またはステンレス鋼製、開閉表示器及び調整ハンドルはステンレス鋼製及びステンレス鋼棒製とする。	ステンレス	風道	呼び径(ステンレス)	リベットの間隔	0.5	25×25×3	2.000	4.0	100
	1 配管の接続法	一般配管用ステンレス鋼管の接続は、原則メカニカルジョイントとする。	ウ 排気フード	(7) ステンレス鋼板製(SUS430、表面仕上げNo.2B)とし板厚は1.0mm以上とする。なお、板の継目は溶接とし、必要に応じ、補強材を入れる。			0.6	30×30×3	1.000	4.0	100		
ガス設備	1 ガス配管支持	露出部及び隠蔽部の配管用炭素鋼管の支持は、管に防食テープ等を巻き絶縁処理を施す。	(4) フードの下端には50mm以上の下がり部を設け、集気部分の傾斜角度は水平面に対し、10°以上とする。	ステンレス	風道	風道	0.8	40×40×3	1.000	4.0	100		
	2 ガスメーター	・借用 ・本工事	(5) グリスフィルターはステンレス製パッフル形とし、使用数と同数の予備品を納入する。				1.0	40×40×5	1.000	4.0	100		
給湯設備	3 ガスボンベ	・借用 ・本工事	エ 風量測定口	アルミニウム合金または亜鉛合金製とする。	ステンレス	風道	表-4 風道の縦方向の補強 単位 (mm)						
	4 耐震ガス遮断器	・設ける ・設けない	3 風道の製作及び取付	(1) 次による他は、亜鉛鉄板製風道の一般事項による。			風道の幅	山形鋼	取付箇所	山形鋼取付用リベット			
ガス設備	5 ガス漏れ警報器	・設ける ・設けない	ア 矩形風道		ステンレス	風道	呼び径(ステンレス)	リベットの間隔	750を超え1,500以下	40×40×3	中央に1箇所	4.0	100
	6 その他	a ガスボンベ転倒防止の鎖は、(・本工事 ・別途工事)とする。 b ガスボンベ置場のコンクリート基礎は、(・本工事 ・別途工事)とする。 c 都市ガスの場合は、ガス供給事業者の供給規定による。	(7) 板の継目	① 風道の角の継目は2カ所以上とし、ピッツバグは、ボタンパンチスナップは、スポットまたはアーク溶接とする。			1,500を超えるもの	40×40×5	中央に2箇所	4.0	100		
し尿浄化槽設備	1 処理方法	合併処理 ・接触ばっ気方式 ・長時間ばっ気方式 ・回転接触方式	② 流れに直角方向の継目は、流れ方向に内部甲は、流れ目またはアーク溶接とする。 継目は同一面において900mm以上、側面の継ぎ目は300mm以上離す。	ステンレス	風道	風道	表-5 風道のつり金物及び支持金物 単位 (mm)						
	2 処理能力	処理対象人員 人 処理水量 m <sup>3</sup> /日	③ 流れ方向の継目は、標準の板取りできないもの限り内部甲は、流れ目またはアーク溶接とする。				板の標準厚さ	つり金物		支持金物			
し尿浄化槽設備	3 形式	・現場施工形 ・ユニット形	(4) 標準の板厚	最大風速が15m/sec以下の風道板厚は表-1による。尚、両端寸法が異なる風道は、その最大寸法による板厚とする。	ステンレス	風道	山形鋼	棒鋼	最大間隔	山形鋼	最大間隔		
	4 放流水質	BOD mg/Lit以下、COD mg/Lit以下、SS mg/Lit以下	表-1 風道の板厚 単位 (mm)	表-1 風道の板厚 単位 (mm)			0.5	25×25×3	8	2.000	25×25×3	4.000	
し尿浄化槽設備	5 主要部構造	・FRP製 ・コンクリート製	表-1 風道の板厚 単位 (mm)	表-1 風道の板厚 単位 (mm)	ステンレス	風道	0.6	30×30×3	8	1.000	30×30×3	4.000	
	6 マンホールふた	製造者標準品 ・MHA ・MHB	表-1 風道の板厚 単位 (mm)	表-1 風道の板厚 単位 (mm)			0.8	40×40×3	8	1.000	40×40×3	4.000	
し尿浄化槽設備	7 臭突	立上がり部は、GL+500Hまでコンクリートにて根巻きする。	(9) 風道の接続	① 接続は表-2による接合用フランジを用いて行う。フランジの継ぎ箇所は四隅とし、フランジ接合面の溶接部はグラインダーなどで平滑に仕上げた後、必要な穴明けを行う。	ステンレス	風道	1.0	40×40×5	8	1.000	40×40×5	4.000	
	8 流入管底	設計G L-約 mm	② フランジと風道との取付はリベットを原則とする。ただし、板厚1.0mm以上の風道においてはアーク溶接(最大溶接間隔100mm以下)でも良い。	③ フランジ接合部はフランジ幅と同一のテープを使用してボルトで気密に締付ける。			表-6 配管圧力試験	配管種別	試験圧力	時間			
し尿浄化槽設備	9 スラブ耐荷重	土圧のみ ・20N/m <sup>2</sup> ・35N/m <sup>2</sup> ・80N/m <sup>2</sup>	③ フランジと風道との取付はリベットを原則とする。ただし、板厚1.0mm以上の風道においてはアーク溶接(最大溶接間隔100mm以下)でも良い。	表-6 配管圧力試験	ステンレス	風道	上水直結管	0.75Mpa	60分				
	10 排水方法	自然流下 ポンプ排水(排水槽内径 mm、深さ mm)	表-6 配管圧力試験	表-6 配管圧力試験			揚水管、給湯管 高架水槽以降の管	全揚程又は静水頭の2倍、その値が の時は0.75Mpa	60分				
し尿浄化槽設備	11 消毒剤	固形剤とし予備品2kg(容器入り)を納入する。	表-6 配管圧力試験	表-6 配管圧力試験	ステンレス	風道	冷媒管	機器メーカー指定値(最低2.8MPaとする)	60分				
	12 槽内配管類の防食	鋼管類(ステンレスを除く)は、タールエポキシ樹脂塗料3回塗りとする。	表-6 配管圧力試験	表-6 配管圧力試験			屋内消火栓 消火管	消火ポンプ締切り圧力の1.5倍	60分				
試験	13 送風機室	・設けない ・設ける(・本工事 ・別途工事) ・槽と一体 ・図示による	表-6 配管圧力試験	表-6 配管圧力試験	ステンレス	風道	油配管	最大常用圧力の1.5倍	30分				
	試験	標準仕様書による。	表-6 配管圧力試験	表-6 配管圧力試験			冷温水 冷却水配管	最大使用圧力の1.5倍、その値が 0.75Mpa以下の時は0.75Mpa	30分				
			表-6 配管圧力試験	表-6 配管圧力試験	ステンレス	風道	蒸気管	最大使用圧力の2倍、その値が 0.2Mpa以下の時は0.2Mpa	30分				
			表-6 配管圧力試験	表-6 配管圧力試験			排水管	満水試験	30分				

分類	特 記 事 項												
保 温 施 工 種 別	表-7 保温施工種別												
	給水・ 排水管 （膨張管共）	屋内露出											
		機械室、書庫、倉庫、トレンチ											
		天井、パイプシャフト内											
		床下、暗渠内	○	○			○						
		屋外露出（多湿箇所、浴室、厨房）											
	冷温水管 （膨張管共）	屋内露出											
		機械室、書庫、倉庫、トレンチ											
		天井、パイプシャフト内											
		床下、暗渠内											
		屋外露出（多湿箇所、浴室、厨房）											
	蒸気管	屋内露出											
		機械室、書庫、倉庫、トレンチ											
		天井、パイプシャフト内											
		床下、暗渠内											
		屋外露出（多湿箇所、浴室、厨房）											
	冷媒管	屋内露出	○	○								○	
		機械室、書庫、倉庫、トレンチ	○	○				○					
		天井、パイプシャフト内											○
床下、暗渠内			○									○	
屋外露出（多湿箇所、浴室、厨房）		○	○						○				
注	<p>1 △印は、図面特記により綿布に替えて着色亜鉛鉄板にて施工する場合を示し、原紙は不要。</p> <p>2 保温筒+鉄線+アルミガラスクロスは、アルミガラスクロス付き保温筒+鉄線でも可能。</p> <p>3 床下仕様のポリエチレンフィルム、防水麻布、アスファルトプライマーは、防湿性アルミガラスクロス（サンヨーバリア ALGC又は同等品）でも可能。</p> <p>4 冷媒管の保温筒は、整形用のため保温筒厚さは特に規定しない。</p> <p>5 蒸気管、温水管及び給湯管の弁、フランジは保温を実施する。</p> <p>6 排水管は、屋外露出、1階床下の保温不要。</p> <p>7 消火配管は、屋外及び屋内露出部分を保温する。</p> <p>8 外部で地盤面から2m以内の保温材はフォームポリスチレンとする。</p>												

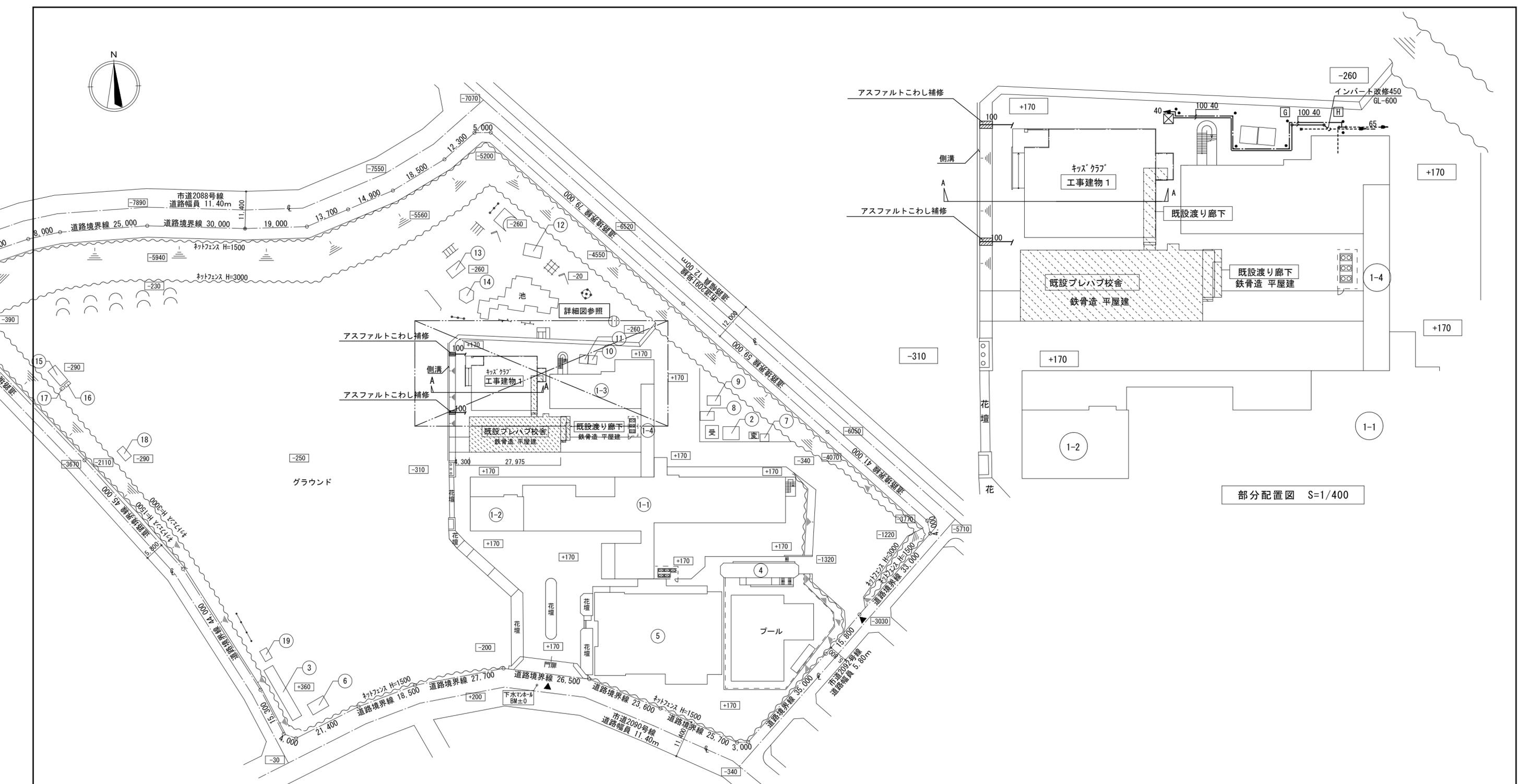
分類	特 記 事 項																									
完 成 図 の 書 式	1 完成図のファイル形式 JWW, SFC																									
	2 使用レイヤ（括弧内は、建築図主体の場合を示す。） <table border="0" style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="width:50%;">・ レイヤ0 通り芯</td> <td style="width:50%;">・ レイヤ8 その他</td> </tr> <tr> <td>・ レイヤ1 躯体</td> <td>・ レイヤ9 指定無し</td> </tr> <tr> <td>・ レイヤ2 建具</td> <td>・ レイヤ10 電気設備</td> </tr> <tr> <td>・ レイヤ3 間仕切り</td> <td>・ レイヤ11 給排水設備</td> </tr> <tr> <td>・ レイヤ4 仕上げ</td> <td>・ レイヤ12 空調設備</td> </tr> <tr> <td>・ レイヤ5 インテリア</td> <td>・ レイヤ13 指定無し</td> </tr> <tr> <td>・ レイヤ6 補助線</td> <td>・ レイヤ16 寸法線</td> </tr> <tr> <td>・ レイヤ7 文字</td> <td>・ レイヤ17 ハッチ</td> </tr> </table>											・ レイヤ0 通り芯	・ レイヤ8 その他	・ レイヤ1 躯体	・ レイヤ9 指定無し	・ レイヤ2 建具	・ レイヤ10 電気設備	・ レイヤ3 間仕切り	・ レイヤ11 給排水設備	・ レイヤ4 仕上げ	・ レイヤ12 空調設備	・ レイヤ5 インテリア	・ レイヤ13 指定無し	・ レイヤ6 補助線	・ レイヤ16 寸法線	・ レイヤ7 文字
・ レイヤ0 通り芯	・ レイヤ8 その他																									
・ レイヤ1 躯体	・ レイヤ9 指定無し																									
・ レイヤ2 建具	・ レイヤ10 電気設備																									
・ レイヤ3 間仕切り	・ レイヤ11 給排水設備																									
・ レイヤ4 仕上げ	・ レイヤ12 空調設備																									
・ レイヤ5 インテリア	・ レイヤ13 指定無し																									
・ レイヤ6 補助線	・ レイヤ16 寸法線																									
・ レイヤ7 文字	・ レイヤ17 ハッチ																									
3 図面サイズ 原則的にはA2サイズとする。																										

分類	特 記 事 項										
使 用 管 材	管材は ○ 印又は無印を使用する。										
	1 冷温水配管	・ 配管用炭素鋼鋼管(白)SGP ・ 水道用亜鉛鍍金鋼管 SGPW									
	2 冷却水管	・ 水道用硬質塩化ビニル管 SGP-VB ・ 配管用炭素鋼鋼管(白)SGP ・ 水道用亜鉛鍍金鋼管 SGPW									
	3 蒸気管(往)	・ 配管用炭素鋼鋼管(黒) ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管( ・ STPG 370 ・ Sch40)									
	4 蒸気管(還)	・ 配管用炭素鋼鋼管(黒) ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管( ・ STPG 370 ・ Sch40) ・ 一般配管用ステンレス鋼管SUS304									
	5 油管	配管用炭素鋼鋼管(黒)									
	⑥ 冷媒管	被覆鋼管とし国土交通省仕様									
	⑦ 屋外給水管	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管HIVP									
	8 揚水管	・ 水道用硬質塩化ビニル管 SGP-VB ・ 水道用ホリオン粉体ライニング鋼管 SGP-PB									
	9 揚水管(埋設部)	水道用硬質塩化内外面ビニル管 SGP-VD									
	⑩ 屋内給水管	・ 水道用ホリオン粉体ライニング鋼管SGP-PB ○ 水道用硬質塩化ビニル管 SGP-VB									
	⑪ 屋内給水管(埋設)	○水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管HIVP ・ 水道用ホリオン粉体ライニング鋼管SGP-PD									
	12 給湯管	・ 一般配管用ステンレス鋼管 ・ 保温付被覆鋼管 ・ 被覆鋼管 ・ 水道用耐熱性硬質塩化ビニル管 SGP-HVA (25A以下)									
	13 屋内消火管	水道用亜鉛鍍金鋼管SGPW									
	14 埋設消火管	消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管SGP-VS									
	15 連結送水管	圧力配管用炭素鋼鋼管STPG370 Sch40									
	16 屋外排水管	○ 硬質塩化ビニル管RF-VP ・ 遠心力鉄筋コンクリート管(外圧管1種B型) ・ 配管用炭素鋼鋼管(白)SGP									
	⑰ 屋内排水管	○ 硬質塩化ビニル管VP ・ 特殊形排水鉄管( ・ 1種 ・ 2種) ・ 配管用炭素鋼鋼管(白)SGP ・ 繊維補強塩化ビニル二層管(耐火二層管) 配管用炭素鋼鋼管(白)SGP									
	18 高温水排水管	ガス用ホリオン管PE(都市ガス、LPガス共)。探査用電線を添わせて施工する。									
	19 屋外埋設ガス管	配管用炭素鋼鋼管(白)(都市ガス、LPガス共)									
	20 屋内ガス管	塩化ビニル被覆鋼管									
	21 地下ピット内ガス管	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管(HIVP)									
22 ろ過配管											

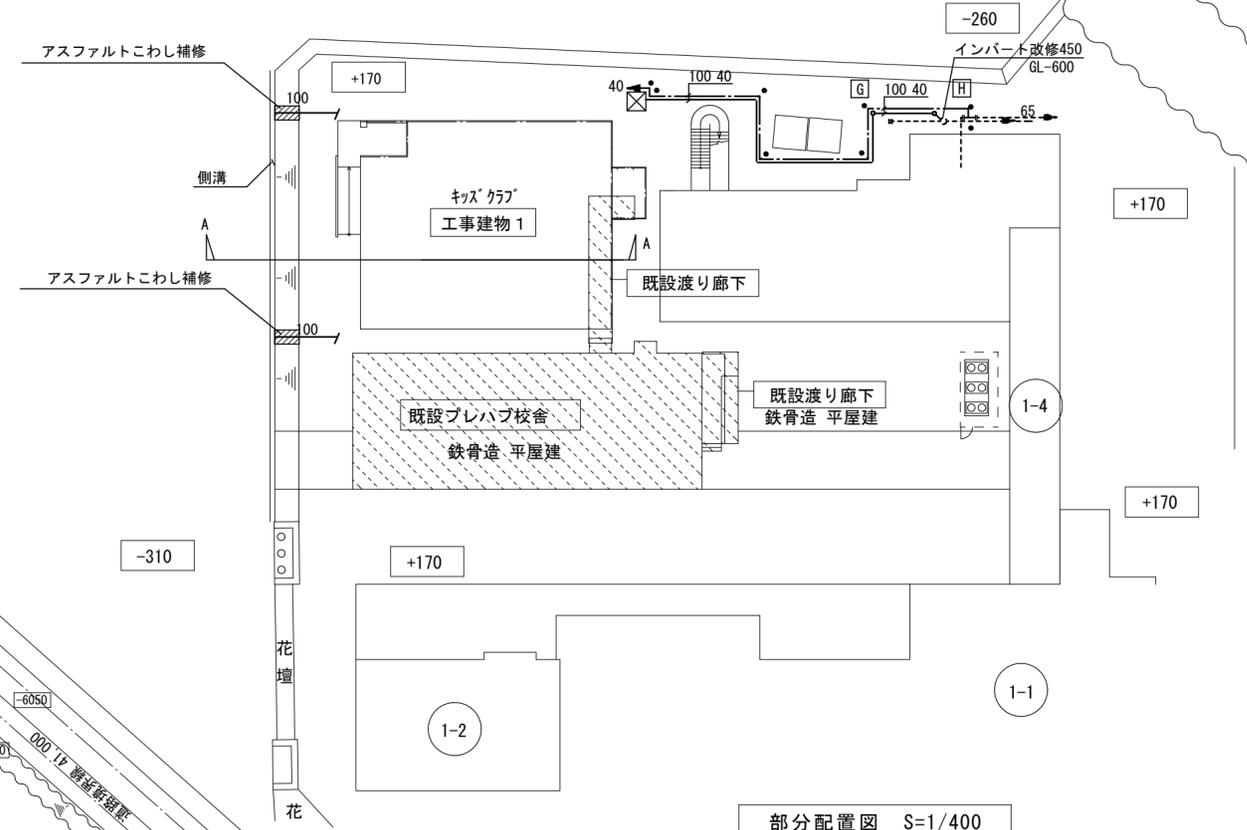
\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

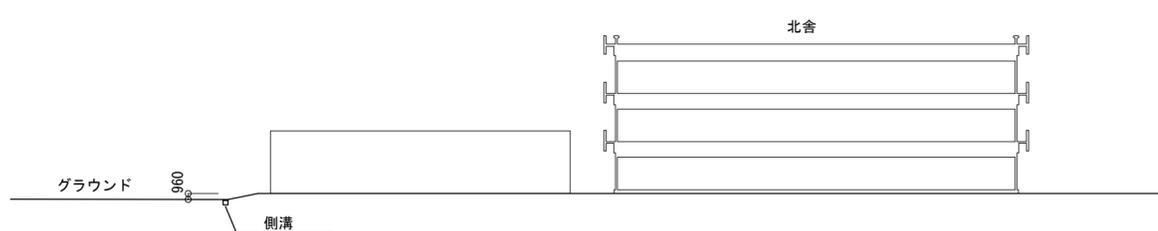
\_\_\_\_\_



配置図 S=1/800



部分配置図 S=1/400



A-A  
縦横断面図 S=1/400

凡例	
	本工程対象建物 新築工事を示す
	本工程対象建物 解体工事を示す
	BMからのレベル高さを示す
	敷地出入口を示す


**株式会社 山田建築事務所**  
 YAMADA ARCHITECT OFFICE 一級建築士184560号 山田 克弘

CHECK	DESIGN	DRAW	SCALE
			A2 : S=1/800、400
			A3 : S=1/707、566
			DATE
			平成29年8月

**可児市立桜ヶ丘小学校キッズクラブ新築工事**  
 配置図

凡 例

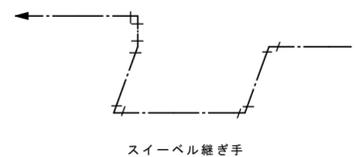
記 号	名 称	摘 要
———	給 水 管	埋設：耐衝撃性硬質塩化ビニル管 HIVP その他：水道用硬質塩化ビニルパイプ鋼管 VB
———	汚 水 管	硬質塩化ビニル管 VP
———	雑 排 水 管	硬質塩化ビニル管 VP
———	通 気 管	〃
— R —	冷 媒 管	メーカー標準品 JISH3300 (ガス・液共) (被服鋼管)
— D —	ド レ ン 管	硬質塩化ビニル管 VP
— x — x — x —	撤 去 管	
○	給 水 栓	
⊗	フラッシュ弁	
⊗	弁 柵	JIS 10K 弁ボックス VC-P
●	地中埋設標	RC製
⊙	床上掃除口	非防水層用
← A ↓ --- VC	ベントキャップ	
— — -----	切断接続	

器 具 表

名 称	標 準 品 番		主 要 付 属 品 ・ 仕 様	数	備 考
	TOTO	LIXIL			
洋 風 便 器	CS597BS	BC-110STU	ロータンク 蓋固定(手洗無し) スローダウン便座 SUS柵付紙巻器 (W)	7	
小 便 器	UFS900R	U-A51AP	壁掛形低リップ 自動洗浄弁 1φ100V	3	
小便器用手すり	T112CU2	KF-701AE		1	
洗 面 器	L250CM	AM-200CV1	単水栓 (自動) 壁排水金具P 取付金具 水石けん入れ	2	
化 粧 鏡	YM4560AE	KF-4560AG		2	
化 粧 鏡	YM3545AE	KF-3545AE		6	
洗濯機パン	PWP640NRW	PF-6464AC/L11	縦引きトラップ	1	
胴長横水栓	T23BNR13C	LF-12F-13		6	
洗濯機水栓	TW11R	LF-WJ50KQ		1	
散水栓	T28UNH13	LF-33-13-CV	B-3	2	

機器一覧表 (機械設備工事)

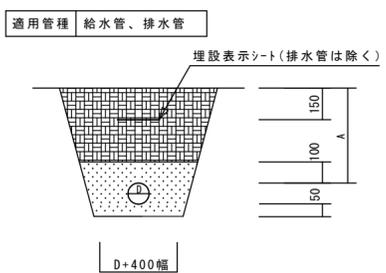
記 号	機 器 名	仕様・能力	数量
OT-1	汚 水 槽	容 量 1.0m <sup>3</sup> FRP製	1
		能 力 50φ x 200L/min x 4m x 0.4Kw (2台1組) 1φ100V60Hz	
		仕 様 汚水専用 自動交互並列運転 屋外制御盤 ケーブル8m程度	
		GVCV (附属品) マンホールMHA (ボルト締め) コンクリート巻き 砂巻き 着脱装置付	



適用区分

管種及び用途
スィーベル継ぎ手 鋼管・合成樹脂管 (40A以下に適用)

設計図に特記なき限り上表による。



A	管の指定埋設深さ
D	埋設管径
	小石を含まない良土
	砂類

雨水樹リスト：塩ビ小口径樹

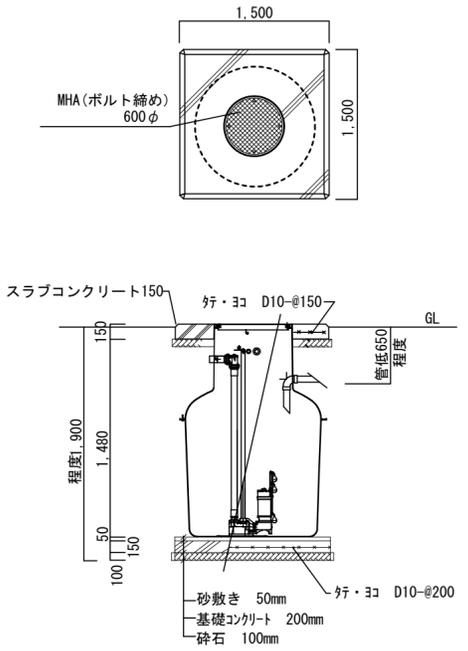
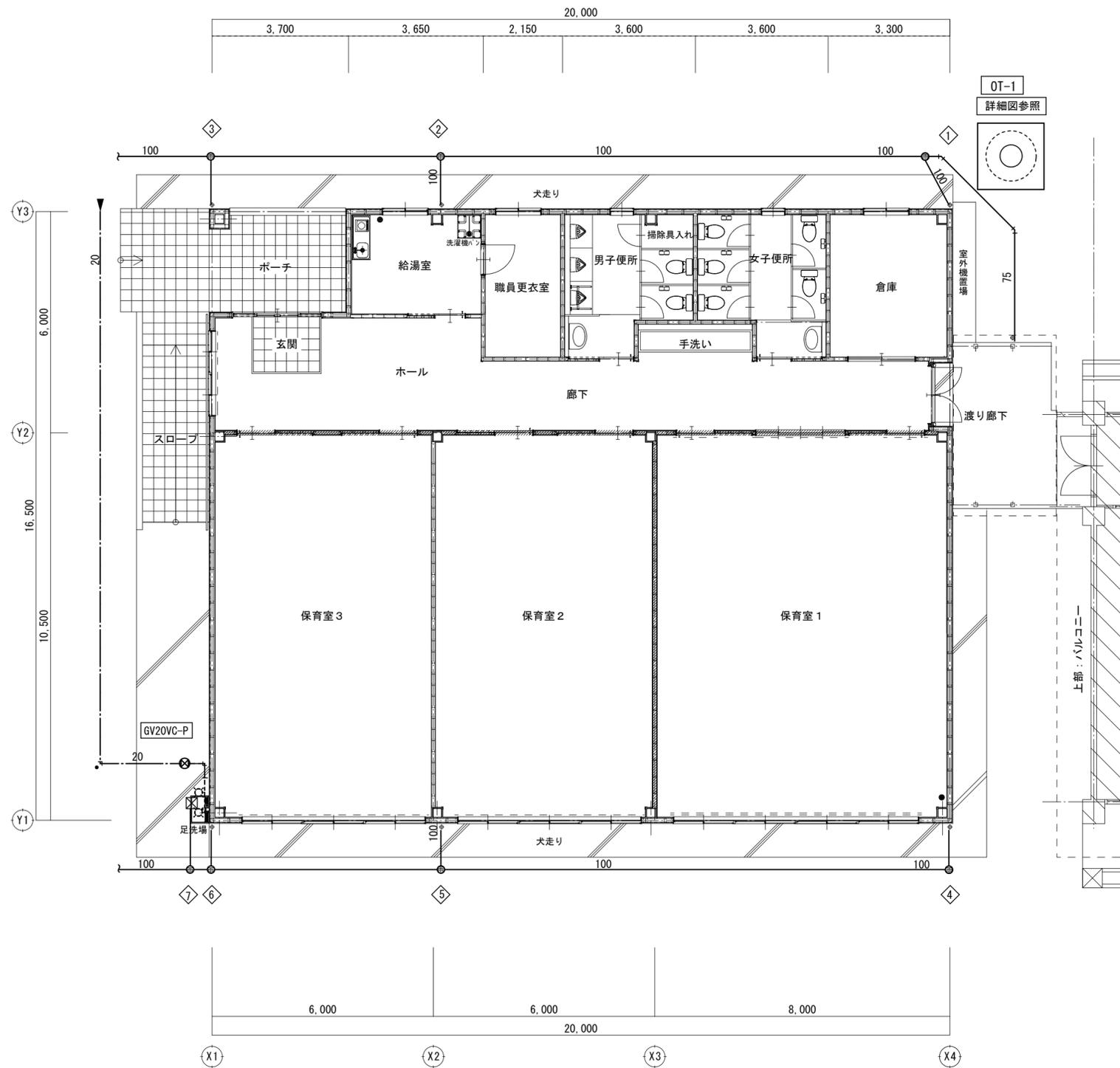
記 号	種 別	管底レベル	蓋	備 考
①	90Y 100-200	-300	塩ビ蓋	
②	90Y 100-200	-400	塩ビ蓋	
③	90Y 100-200	-530	塩ビ蓋	
④	90L 100-200	-300	塩ビ蓋	
⑤	90Y 100-200	-400	塩ビ蓋	
⑥	90Y 100-200	-530	塩ビ蓋	
⑦	90Y 100-200	-540	塩ビ蓋	

1. 配管勾配は1/200を標準とする。

汚水樹リスト：塩ビ小口径樹

記 号	種 別	管底レベル	蓋	備 考
A	分離樹	-430	塩ビ蓋	可児市指定品
B	90L 100-200	-450	塩ビ蓋	
C	90Y 100-200	-500	塩ビ蓋	
D	90Y 100-200	-550	塩ビ蓋	
E	90Y 100-200	-560	塩ビ蓋	
F	ST 100-200	-600	塩ビ蓋	
G	90Y 100-200	-500	塩ビ蓋	
H	45L 100-200	-550	塩ビ蓋	

1. 配管勾配は1/100を標準とする。



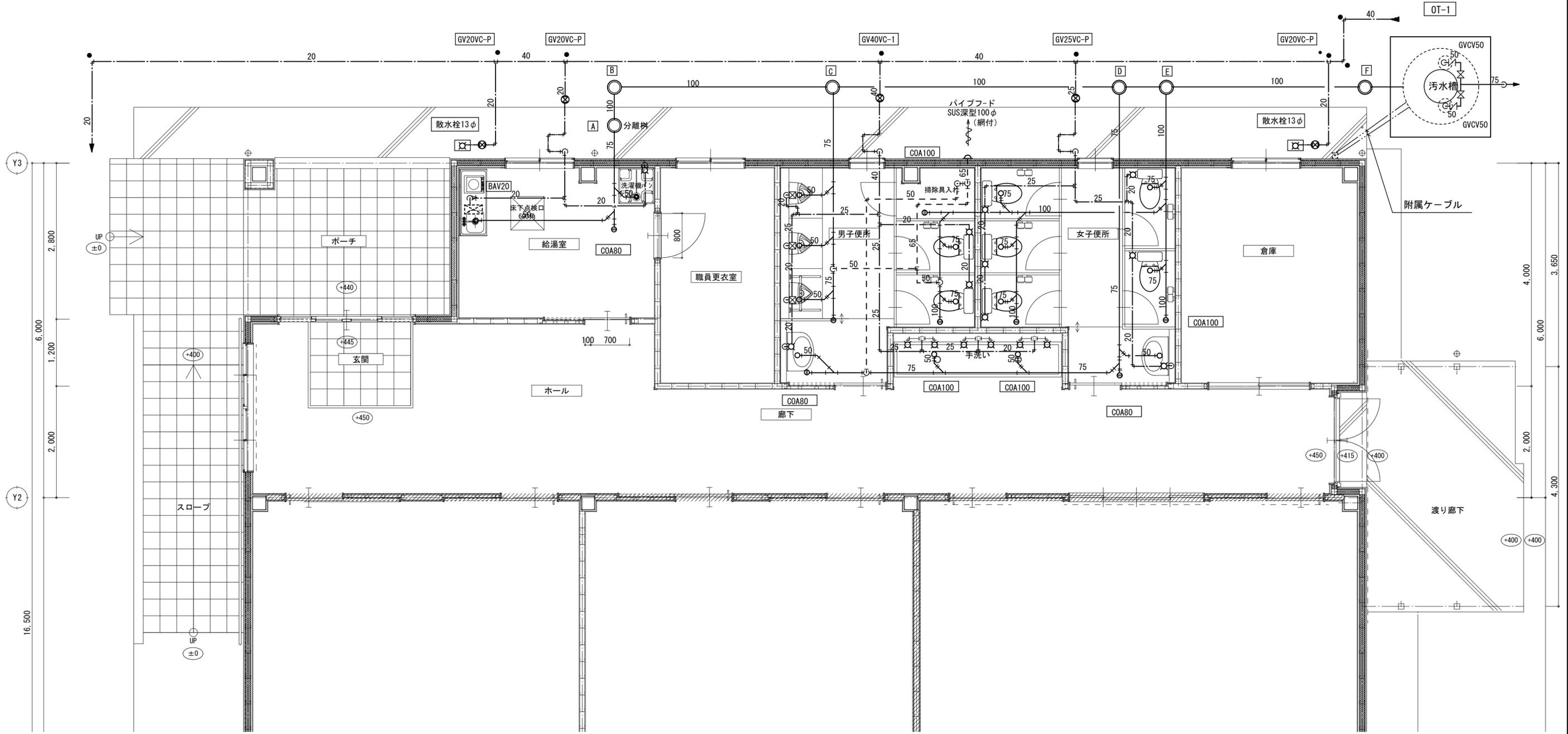
鉄筋 D10 D13 (SD295)  
 コンクリート FC 21KN

汚水槽補強要領図

導入管管径、機器形状はメーカーにより異なる。

1階平面図 S=1:100


 株式会社 山田建築事務所 YAMADA ARCHITECT OFFICE 一級建築士184560号 山田克弘	CHECK	DESIGN	DRAW	SCALE A2: S=1/100 A3: S=1/141	可児市立桜ヶ丘小学校キッズクラブ新築工事 給排水設備図
				DATE 平成29年8月	

空調機器表					
記号	名称	仕様	電源	数量	備考
PAC-1	空冷式ヒートポンプ	天井吊露出 (ツインタイプ)	3φ200V	1	コンクリート基礎
	パッケージ	能力 冷房 20.0kW 暖房 22.4kW			(建築工事)
		消費電力 冷房 6.81kW 暖房 6.15kW			
		ファン出力 内0.15x2KW+外 0.2x2KW			
		圧縮機 4.61kW			
	付属品	ドレンアップ装置 ワイヤードリモコン 操作線 転倒防止金物 (SUS製) 防護ネット3面以上			
PAC-2	空冷式ヒートポンプ	天井吊露出	3φ200V	1	コンクリート基礎
	パッケージ	能力 冷房 14.0kW 暖房 16.0kW			(建築工事)
		消費電力 冷房 5.38kW 暖房 4.65kW			
		ファン出力 内0.15kW+外0.211kW			
		圧縮機 2.99kW			
	付属品	ドレンアップ装置 ワイヤードリモコン 操作線 転倒防止金物 (SUS製) 防護ネット3面以上			
KPAC-1	空冷式ヒートポンプ	天井吊露出 (既設品再取付)	3φ200V	1	コンクリート基礎
	パッケージ	能力 冷房 14.0kW 暖房 16.0kW			(建築工事)
	(既設品再取付)				
		新設部品等			
		付属品	ドレンアップ装置 操作線 冷媒管 転倒防止金物 (SUS製) 防護ネット3面以上		
		注 省エネ機器を使用のこと			

既設空調機器表					
記号	名称	仕様	電源	数量	備考
KPAC-1	空冷式ヒートポンプ	天井吊露出	3φ200V	1	解体プレハブ内1台
	パッケージ	能力 冷房 14.0kW 暖房 16.0kW			
	移設品	消費電力 冷房 5.38kW 暖房 4.65kW			
KPAC-2	空冷式ヒートポンプ	能力 冷房 12.5kW 暖房 14.0kW	3φ200V	2	解体プレハブ内2台
	パッケージ				
	本体撤去処分建築	フロンガス破壊処理共 (設備工事)			

換気機器表

記号	名称	仕様	電源	合計	備考 (参考品番)
FV-1	天井埋込扇	低騒音 (格子形) 150φ×300CMH×50Pa x46W	1φ100V	1	
		(金属製) 深型150φ FD付SUS製パイプフード			
FV-2	天井埋込扇	低騒音 (格子形) 150φ×300CMH×50Pa x46W	1φ100V	2	
		(金属製) 深型150φ SUS製パイプフード			
FV-3	天井埋込扇	低騒音 (格子形) 150φ×300CMH×50Pa x49W	1φ100V	1	
		(樹脂製) 深型150φ SUS製パイプフード (24時間対応SW付)			
FV-4	天井埋込扇	低騒音 (格子形) 150φ×150CMH×50Pa x23.5W	1φ100V	4	
		(樹脂製) 深型100φ SUS製パイプフード			
FV-5	ミニキッチン用	深型100φ SUS製パイプフード		1	
		衛生通気用フード 深型100φ SUS製パイプフード (網付)			
OA-1	自然給気口	型式 給気レジスター(フィルター付) プッシュ式開閉パネル		3	
		接続口径 150φ			
		付属品 SUS製深形パイプフード (FD・防虫網付)、他			
OA-2	自然給気口	型式 給気レジスター(フィルター付) プッシュ式開閉パネル		3	
		接続口径 150φ			
		付属品 SUS製深形パイプフード (防虫網付)、他			

注 消費電力等は、参考とする

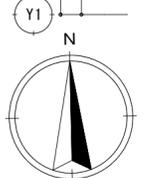
\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_



※ 区画貫通耐火処理を行う  
 操作線 EM-CEE2.0-3C 共巻き  
 リモコン線 EM-CEE1.25-2C(壁内PF16)





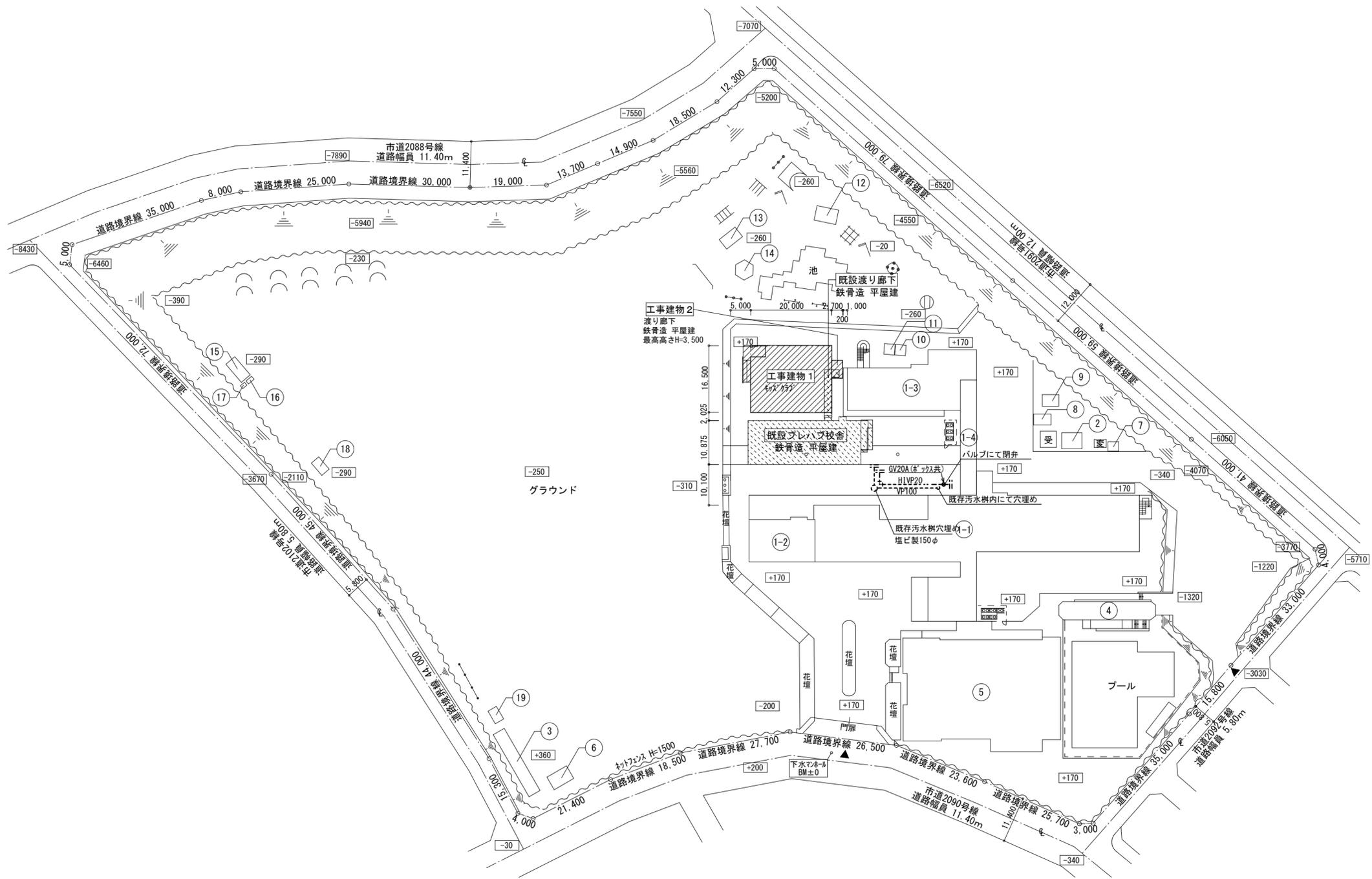
株式会社 山田建築事務所  
 YAMADA ARCHITECT OFFICE 一級建築士184560号 山田 克弘

CHECK	DESIGN	DRAW

SCALE  
 A2 : S=1/50  
 A3 : S=1/70  
 DATE  
 平成29年8月

可児市立桜ヶ丘小学校キッズクラブ新築工事  
 換気設備図

SHEET NO.  
 M - 10



屋外給排水設備図 S=1/800

既設建物リスト			
番号	建物名称	構造	階数
①-1	南舎	RC造	3階
①-2	北舎	RC造	3階
①-3	渡り廊下	RC造	2階
合計			3階
②	ボツ室	RC造	1階
③	体育器具庫	RC造	1階
④	プール附属棟	RC造	1階
⑤	屋内運動場	S造	1階
⑥	屋外トイレ	S造	1階
⑦	焼却炉棟	S造	1階
⑧	倉庫1	S造	1階
⑨	楽焼棟	CB造	1階
⑩	倉庫2	S造	1階
⑪	倉庫3	S造	1階
⑫	動物飼育小屋1	S造	1階
⑬	動物飼育小屋2	木造	1階
⑭	動物飼育小屋3	木造	1階
⑮	更衣室	CB造	1階
⑯	倉庫4	S造	1階
⑰	倉庫5	S造	1階
⑱	防災倉庫	S造	1階
⑲	倉庫6	S造	1階
合計			

特記事項  
 ※ 第1工程（既設 渡り廊下）は本工事新築建物の工事前に解体撤去とする。  
 ※ 第2工程（既設 プレハブ校舎）は本工事新築建物の完成・移設完了後に解体撤去とする。

凡例	
	本工事対象建物 新築工事を示す
	本工事対象建物 解体工事を示す
	BMからのレベル高さを示す
	敷地出入口を示す

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

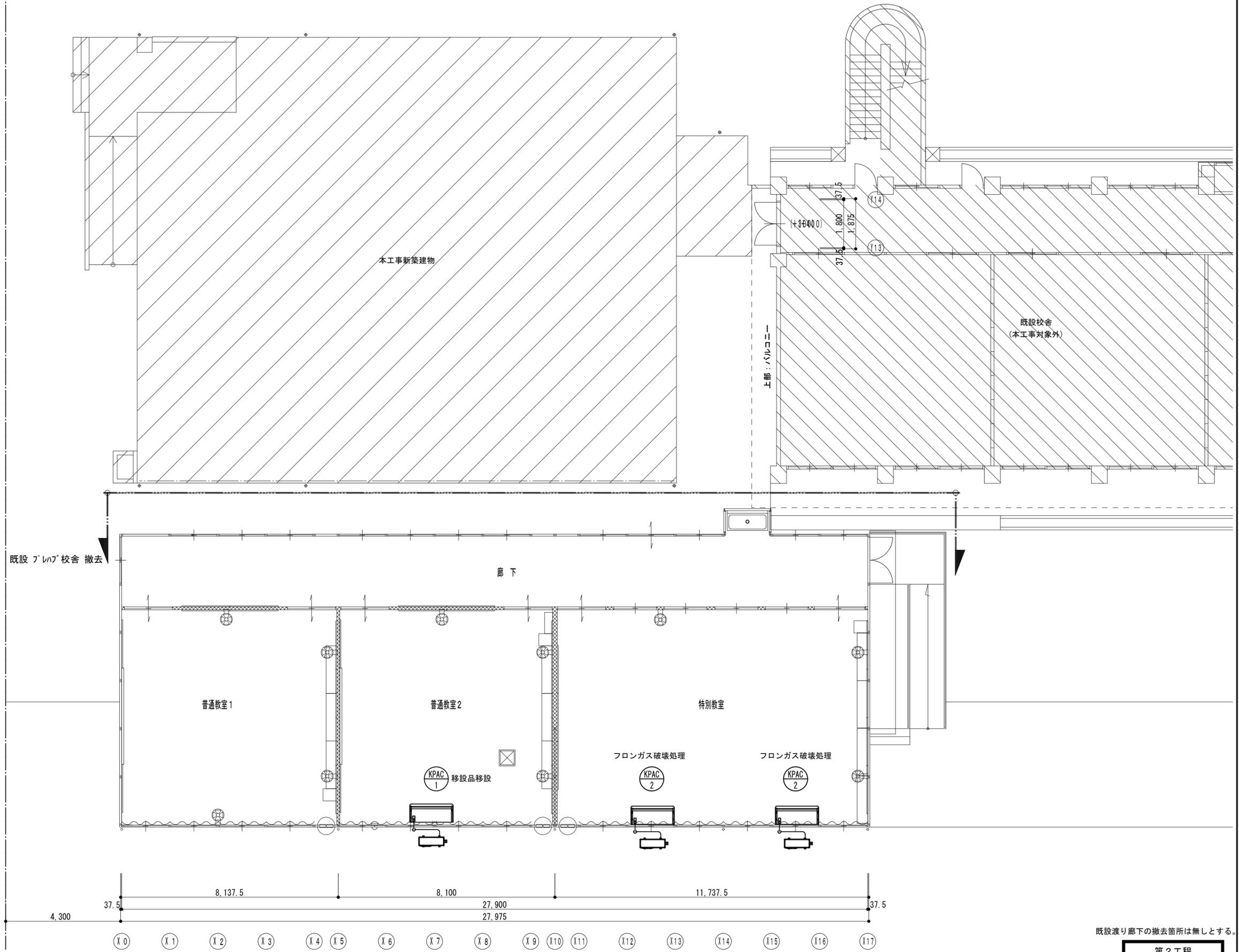
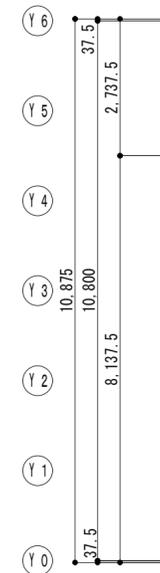
\_\_\_\_\_

**株式会社 山田建築事務所**  
 YAMADA ARCHITECT OFFICE 一級建築士184560号 山田 克弘

CHECK	DESIGN	DRAW	SCALE A2: S=1/800 A3: S=1/1132
			DATE 平成29年8月

可児市立桜ヶ丘小学校キッズクラブ新築工事 【解体撤去図】

既設プレハブ校舎 撤去屋外給排水設備図



空調設備図 S=1/100

既設渡り廊下の撤去箇所は無しとする。

第2工程  
既設プレハブ校舎 撤去


株式会社 山田建築事務所 YAMADA ARCHITECT OFFICE 一級建築士184560号 山田 克弘	CHECK	DESIGN	DRAW	SCALE A2: S=1/100 A3: S=1/141
				DATE 平成29年8月

可児市立桜ヶ丘小学校キッズクラブ新築工事 【解体撤去図】  
既設プレハブ校舎 空調設備図